

## 令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業・実績報告書

## 目 次

- ① みえ森と緑の県民税基金積立金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1- 2
- ② 災害に強い森林づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1- 3
  - ア. 災害緩衝林整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1- 5
  - イ. 土砂・流木緊急除去事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-24
- ③ 森林情報基盤整備事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-39
- ④ 森を育む人づくり推進事業
  - ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-45
  - イ. 森林環境教育・木育拠整備事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-57
  - ウ. 森里川海つながり推進事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-61
  - エ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-63
  - オ. みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業【新規】・・・・・・・・・・ 1-67
- ⑤ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-77
  - ア. 流域防災機能強化対策事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-78
  - イ. 森林再生強化力対策事業【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1-83
- ⑥ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業・・・・・・・・・・ 1-89
- ⑦ みえ森と緑の県民税制度運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31- 1

## 令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

積立総額【決算額 1,114,861,903円】（予算額 1,090,828,000円）

① みえ森と緑の県民税基金積立金事業【決算額 1,114,861,903円】（予算額 1,090,828,000円）

取崩総額【決算額 1,078,277,169円】（予算額 1,124,692,000円）

② 災害に強い森林づくり推進事業費【決算額 404,894,995円】（予算額 408,380,000円）

ア. 災害緩衝林整備事業【決算額 347,059,492円】（予算額 348,383,000円）

イ. 土砂・流木緊急除去事業【決算額 57,835,503円】（予算額 59,997,000円）

③ 森林情報基盤整備事業【新規】【決算額 74,063,270円】（予算額 77,757,000円）

④ 森を育む人づくり推進事業費【決算額 51,522,715円】（予算額 69,193,000円）

ア. 森を育む人づくりサポート体制整備事業【決算額 30,479,592円】（予算額 31,057,000円）

イ. 森林環境教育・木育拠点整備事業【新規】【決算額 7,620,083円】（予算額 15,313,000円）

ウ. 森里川海つながり推進事業【新規】【決算額 3,078,134円】（予算額 4,024,000円）

エ. 森林とふれあう自然公園環境整備事業【新規】【決算額 7,726,270円】（予算額 15,350,000円）

オ. みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業【新規】【決算額 2,618,636円】  
（予算額 3,449,000円）

⑤ みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業【決算額 158,426,108円】

（予算額 169,000,000円）

ア. 流域防災機能強化対策事業【新規】【決算額 134,218,600円】（予算額 136,800,000円）

イ. 森林再生力強化対策事業【新規】【決算額 24,207,508円】（予算額 32,200,000円）

⑥ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業

【決算額 379,798,000円】（予算額 381,000,000円）

⑦ みえ森と緑の県民税制度運営事業【決算額 9,572,081円】（予算額 19,362,000円）

※グレーの囲みの単位で、「令和元年度みえ森と緑の県民税基金事業・事業別評価シート」を作成しています。

# 令和元年度災害に強い森林づくり推進事業 実施箇所表

## 災害緩衝林整備事業

NO	施行箇所				危険木等除去体積 (m3)	危険木等除去単価 (円/m3)	調整伐 (ha)	調整伐単価 (円/ha)	工事費 (千円)	コスト縮減額(千円)	保全対象	進捗状況	搬出方法
	郡(市)	町	大字	字									
1	(いなべ)		北勢町 畑毛	北之谷	16.0	14,478	0.49	392,725	1,080	0	人家2戸、県道、市道、公共施設	完成	人力
2	(鈴鹿)		西庄内町	池ノ谷	63.0	7,015	2.31	420,275	3,858	953	林道	完成	車両
3	(龜山)	—	加太向井	柚ノ木	57.0	7,026	1.21	586,498	3,547	633	林道	完成	車両
4	(龜山)	—	加太神武	奥ノ井出	96.0	5,791	3.34	367,559	5,435	1,284	人家5戸、国道、林道	完成	車両
5	(津)	—	一志町波瀬	桑俣	15.0	6,622	1.93	336,870	4,429	171	県道、林道	完成	車両
6	(津)	—	美杉町 下之川	大谷	157.0	6,063	2.79	680,149	8,522	1,836	人家20戸、県道、市道、公共施設	完成	車両
7	(津)	—	白山町 福田山	附田	201.0	6,420	2.94	547,895	13,666	2,686	人家33戸、県道	完成	車両
8	(津)	—	美杉町 丹生俣	笹谷	155.0	6,612	1.55	697,438	7,789	2,555	人家30戸、県道	準備中	車両
9	(松阪)	—	飯高町 深野	藪谷	314.0	7,484	0.00	0	22,804	3,493	人家22戸、国道、市道	完成	車両+架線
10	(松阪)	—	飯高町 田引	小田	150.0	7,109	3.49	955,884	14,978	1,614	林道	完成	車両+架線
11	(松阪)	—	飯高町 宮本	谷ノ奥	34.0	10,307	0.00	0	9,473	1,831	人家3戸、県道、公共施設	完成	架線
12	多気	大台	唐櫃	横谷 (西心セ)	72.0	5,101	0.00	0	2,438	130	人家37戸、町道	完成	車両
13	多気	大台	熊内	横谷	307.0	6,610	6.76	472,608	26,854	252	人家19戸、町道	完成	車両+架線
14	多気	大台	栗谷	宮の谷2	540.0	4,825	0.32	741,200	16,203	868	人家10戸、県道	完成	車両+架線
15	多気	大台	栗谷	寺浦	162.0	4,829	0.08	7,706,350	6,647	980	人家11戸、国道	完成	車両
16	度会	南伊勢	伊勢路	セトダニ	1.7	19,174	2.83	596,031	4,481	0	県道、町道	完成	人力
17	度会	大紀	永会	若瀬谷	18.2	6,270	1.05	423,991	1,277	428	人家6戸、町道	完成	人力+車両
18	度会	大紀	阿曾	片倉	25.8	7,774	2.08	448,360	2,762	691	人家8戸、町道	完成	人力
19	度会	大紀	大内山	向井	14.0	8,429	7.55	682,317	10,275	0	人家8戸、県道	完成	人力
20	度会	大紀	大内山	今瀬谷	16.0	7,172	2.95	660,008	4,476	0	人家15戸、国道、町道、JR	完成	人力
21	(伊賀)	—	上阿波	奥那須ヶ原	77.8	7,822	4.62	498,187	8,716	1,436	県道	完成	車両
22	(伊賀)	—	上阿波	高良城	76.1	14,365	10.81	491,480	13,243	0	市道、公共施設	施工中	人力
23	(伊賀)	—	奥馬野	下馬野	38.1	13,417	5.34	900,677	11,446	0	人家7戸、県道、公共施設	完成	人力
24	(伊賀)	—	高尾	原池	27.8	16,037	3.36	535,199	5,383	0	人家8戸、県道	完成	人力
25	(尾鷲)	—	早田町	矢瀬	4.8	6,479	8.42	464,518	9,739	0	人家14戸、国道	完成	人力
26	(尾鷲)	—	九鬼町	小屋の谷	37.0	6,066	6.97	579,375	8,162	0	人家25戸	完成	人力
27	北牟婁	紀北	十須	下河内	216.2	9,063	0.98	375,742	11,275	6,215	人家10戸、国道	施工中	架線
28	(熊野)	—	二木島町	株谷	306.1	7,486	15.62	675,317	33,064	5,729	人家20戸、国道、林道、公共施設	完成	車両+架線
29	(熊野)	—	井戸町	南	34.7	17,787	4.46	423,828	5,896	0	人家30戸、県道	完成	人力
30	南牟婁	紀宝	餅田	茶木原	18.0	5,547	3.00	549,300	6,851	0	人家32戸、町道	施工中	車両
	合計	13市町		30箇所	3,251.3	8,640	107.2	740,359	284,769	33,795			

## 土砂・流木緊急除去事業

工事番号	施行箇所				土砂体積 (m3)	土砂単価 (円/m3)	流木体積 (m3)	流木単価 (円/m3)	工事費 (千円)	コスト縮減額(千円)	保全対象	工期	搬出方法
	郡市	町	大字	字									
1	(松阪)	—	飯高町 船戸	大崩	2216.0	2,572	0	0	13,911	0	人家13戸、市道、林道、公共施設	完成	建設機械
2	多気	大台	松原	東又谷	6105.0	1,942	0	0	21,934	0	人家12戸、国道、集会所	完成	建設機械
3	度会	大紀	崎	むさし谷	378.0	4,920	27	9,853	5,382	319	人家2戸、県道	準備中	建設機械
	合計	3市町		3箇所	8,699.0	3,145	27.0	3,284	41,227	319			

## 災害に強い森林づくり推進事業合計

合計	13市町		33箇所						325,996	34,114			
----	------	--	------	--	--	--	--	--	---------	--------	--	--	--



# 災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

## I 災害緩衝林整備事業

- ①溪流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」
- ②①の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」
- ③①②の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根系の発達を促す調整伐」

## II 土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



整備後の森林状況(紀宝町内)



# 災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

<整備前の森林の状態>

流出する恐れのある危険木が存在

間伐不足で過密小径な林分

下層植生がみられず表土が流出



<整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容>

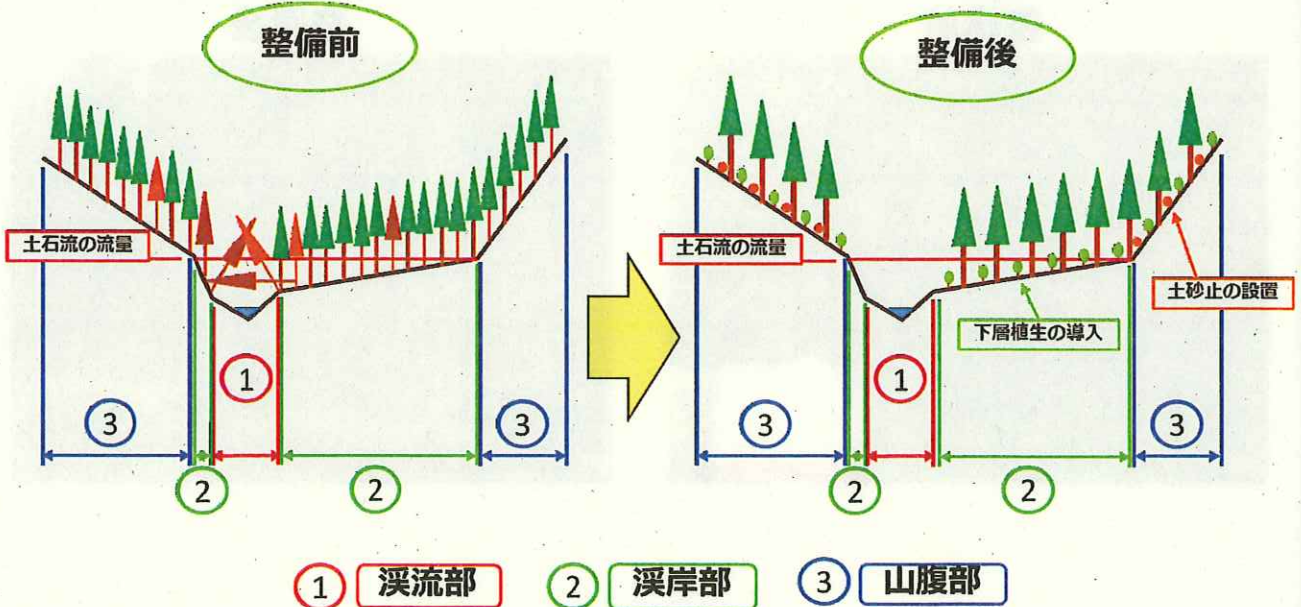
①溪流部で**危険木の除去**⇒流木発生抑制

②溪岸部で**調整伐**による立木の**大径化促進**⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝

③山腹部で**調整伐**による根系の**発達促進**、**土砂止の設置**⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制



【整備区分横断図】





## 溪流部 危険木除去

事例1 亀山市(柚ノ木)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例1 亀山市(柚ノ木)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例1 亀山市(柚ノ木)  
整備前



整備後



## 伐採作業状況

事例1 亀山市(柚ノ木)



## 搬出作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例2 津市(附田)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例2 津市(附田)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例2 津市(附田)  
整備前



整備後



## 集材作業状況

事例2 津市(附田)



## 集材作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例3 大台町(寺浦)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例3 大台町(寺浦)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例3 大台町(寺浦)  
整備前



整備後



## 伐採作業状況

事例3 大台町(寺浦)



## 集材作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例4 大紀町(若瀬谷)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例4 大紀町(若瀬谷)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例4 大紀町(若瀬谷)  
整備前



整備後



## 伐採作業状況

事例4 大紀町(若瀬谷)



## 集材作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例5 伊賀市(下馬野)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例5 伊賀市(下馬野)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例5 伊賀市(下馬野)  
整備前



整備後



## 伐採作業状況

事例5 伊賀市(下馬野)



## 搬出作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例6 紀北町(矢瀨)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例6 紀北町(矢瀨)  
整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

事例6 紀北町(矢瀬)  
整備前



整備後



## 伐採作業状況

事例6 紀北町(矢瀬)



## 集材作業状況





## 溪流部 危険木除去

事例7 熊野市(株谷)  
整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

事例7 熊野市(株谷)  
整備前



整備後





# 山腹部 調整伐

事例7 熊野市(株谷)  
整備前



整備後



# 集材作業状況

事例7 熊野市(株谷)



# 集材作業状況





令和元年度 災害に強い森林づくり推進事業

効果検証にかかる調査・研究事業

(林業研究所)

事業目的と検証事項

□ 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、  
斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

効果検証が必要な事項

- ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？
- ・立木の成長は促進されるか？

□ 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して

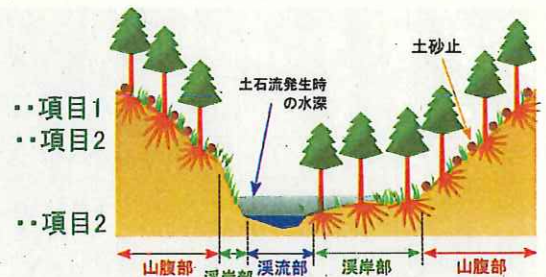
効果検証が必要な事項

- ・立木の成長は促進されるか？

□ 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項

- ・流木発生抑制効果は持続しているか？



・項目1  
・項目2  
・項目2  
・項目3

効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査

根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査、根系引き抜き試験により、崩壊防止力ACを把握
- ② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根系の分布調査及び引き抜き試験、土砂流亡量の継続調査

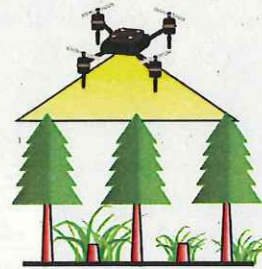
項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査

成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



調整伐実施後の状態変化を調査



項目3 整備森林における危険木発生状況調査

危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握



危険木除去



現状？



# 項目1 樹木根系による斜面安定効果調査 (R1~5)

## 目的

- ①根系による崩壊防止力の把握・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果(樹木根系の支持機能向上)を明らかにする。
- ②土砂流亡量の継続調査・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

## 方法

- ①事業実施地等において根系分布調査や根系引き抜き試験を行うことで、スギ、ヒノキ根系の引き抜き抵抗力、根系による崩壊防止力 $\Delta C$ を検証する。
- ②平成27~29年度に土砂流亡量の観測を行った試験地の一部で土砂流亡量の継続観測を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

## 実施した内容

- ①津市内において、スギ立木4本、ヒノキ立木2本を選定して根元周囲の根系を露出させ、スギ35本、ヒノキ28本の根系(直径1.4~52.0mm)に対して引き抜き試験を行い、根直径、引き抜き抵抗力、引き抜き変位を測定した(図-1)。根直径が太いほど引き抜き抵抗力が大きくなる傾向がみられた(図-2)。
- ②県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流亡量の観測を行った。調整伐直後よりも林床被覆率が高く、土砂流亡量が少ない状態が持続していた(図-3)。

## 今後の予定

- ①引き続き、根系引き抜き試験を実施し、引き抜き抵抗力データを蓄積する。調整伐実施地と未実施地で根系分布調査を行い、この結果に根系引き抜き抵抗力データを適用することで根系による崩壊防止力を算出し、調整伐の効果を明らかにする。
- ②土砂流亡量の観測を継続するとともに、得られたデータの解析を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。



根系引き抜き試験の状況  
引き抜き対象の根系 (ピンクテープ)

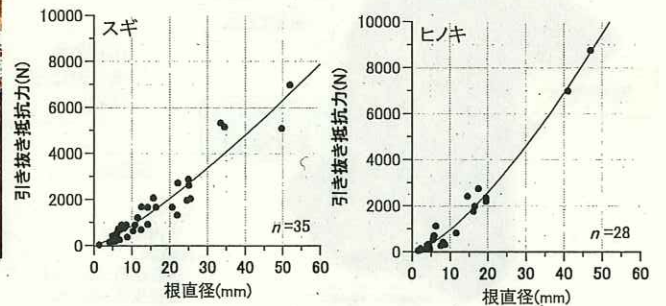


図-2. 根直径と引き抜き抵抗力の関係

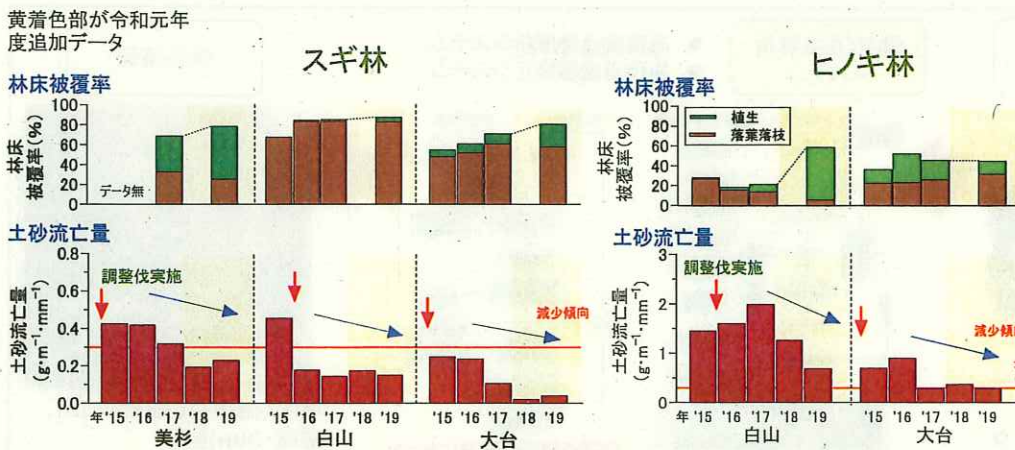


図-3. 調整伐後の林床被覆率と土砂流亡量の経年変化(土砂止有)



林床被覆の変化 (白山ヒノキ箱401の例)



# 項目2 UAVを用いた森林モニタリング調査 (R1~5)

## 目的

山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

## 方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部、他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐実施の効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

## 実施した内容

平成26年度に事業実施地に設定したモニタリング区域内(大台町)に3カ所の空撮区域を設定し、UAVによる空撮及び最適空撮条件の検討及を行った(図-4)。また、3カ所の令和元年度事業実施地においても空撮区域を設定し、調整伐前後に同様の空撮等を行った(図-5)。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、空撮画像解析、森林情報解析技術開発に取り組んだ(図-6、7)。

## 今後の予定

引き続き、設定した空撮区域において定期的にUAV空撮、現地実測調査を行い、最適空撮条件・時期の検討、森林情報解析技術の開発を行う。得られた空撮データ、森林情報解析技術を用いて調整伐後の森林状況の変化を明らかにする。

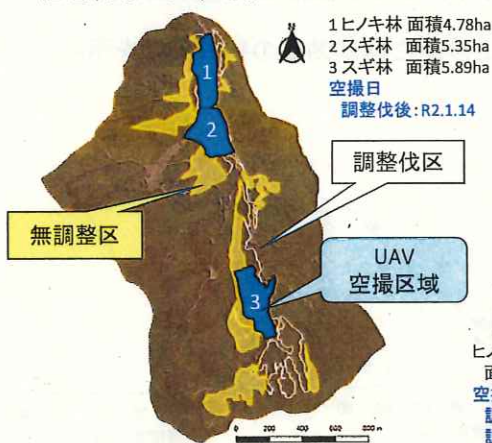


図-4. H26設定モニタリング区域内に設定した空撮区域

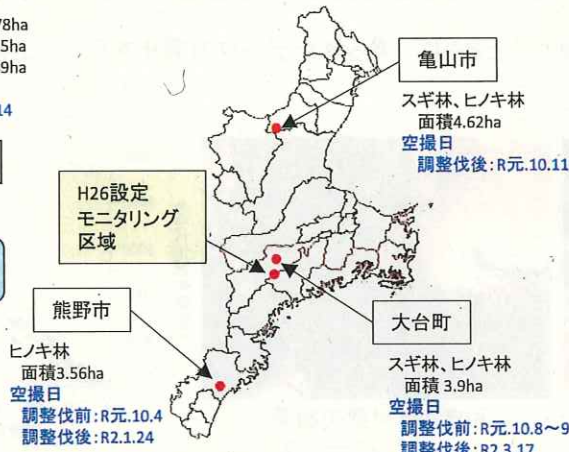


図-5. 空撮区域の位置



図-6. 単木抽出の一例(熊野市)

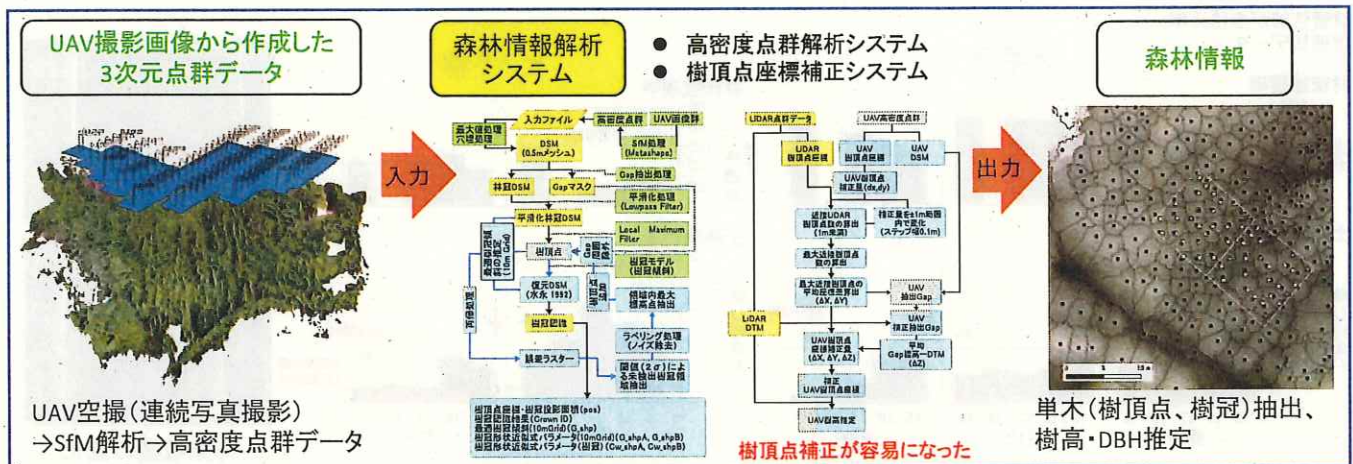


図-7. 開発中のUAVによる森林情報解析技術



# 項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5)

## 目的

溪流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

## 方法

事業により溪流部の危険木除去を行った流域(既整備流域)における倒流木発生の現況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性も高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備流域、未整備流域に固定試験流域を設定して倒流木の移動、加入、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

## 実施した内容

平成26、27年度に溪流部の危険木除去を行った北勢地区、中勢地区の13既整備流域、計3950mで溪流部の踏査を行い、倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-8、9)。整備後に台風災害を受けた流域を除く11流域では倒流木が少なく、整備時除去材積の8%程度の材積であり、整備効果は持続していた。また、令和元年8~10月、平成29、30年度に溪流部の危険木除去を行った4つの既整備溪流、1つの未整備溪流に固定試験流域を設定し、設定時に倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-10)。冬季の湯水期には追跡調査を行い、倒流木の消長、移動状況を調査した(図-10)。

## 今後の予定

引き続き、平成26、27年度の既整備流域を対象に溪流部の踏査を行う。設定した固定試験流域において追跡調査を行い、危険木の消長、移動状況を調査する。得られたデータの解析を行う。



図-8. 既整備流域の多点調査位置

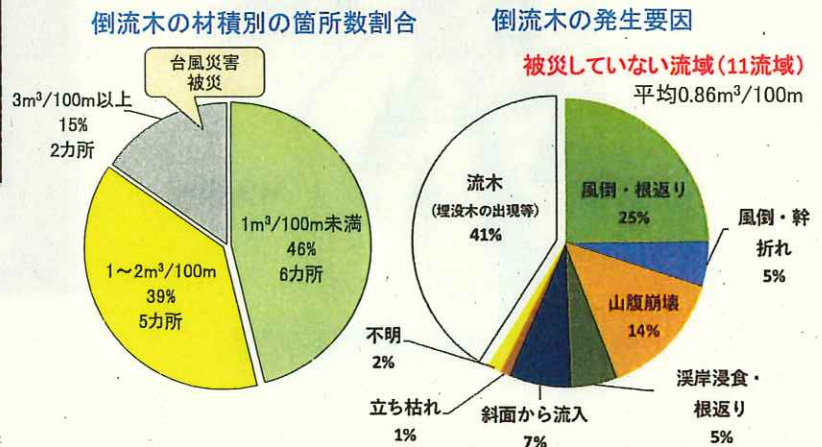


図-9. 既整備流域の多点調査における倒流木の材積、発生要因

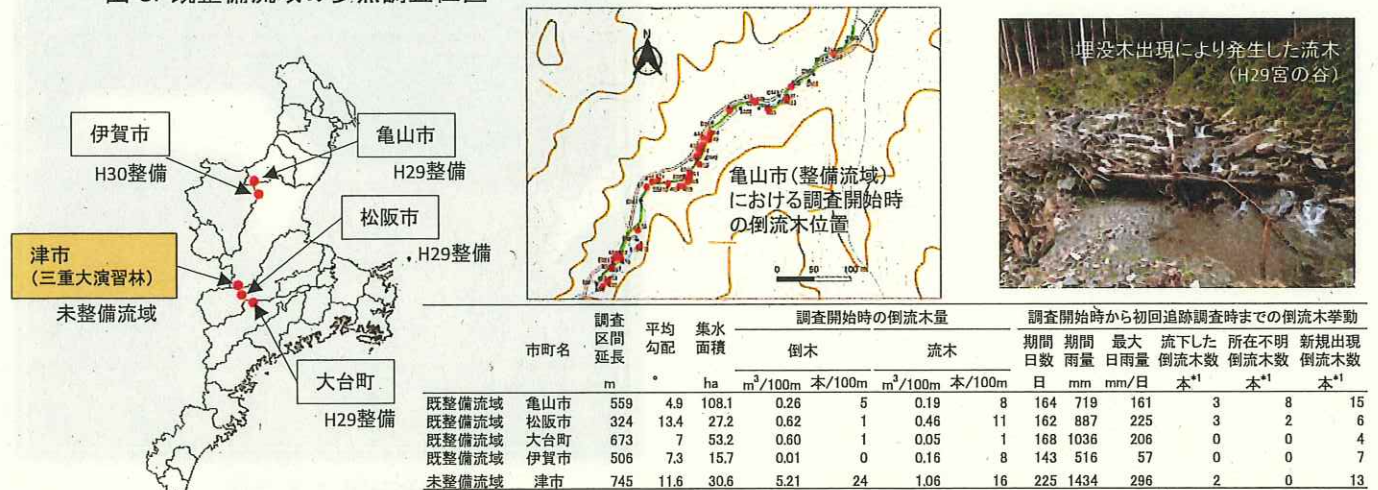


図-10. 固定試験流域の位置と概要

<sup>\*)</sup>: 調査区間当たりの本数



## 土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものを撤去します。



治山施設に異常に堆積した流木



流木撤去後（大台町）



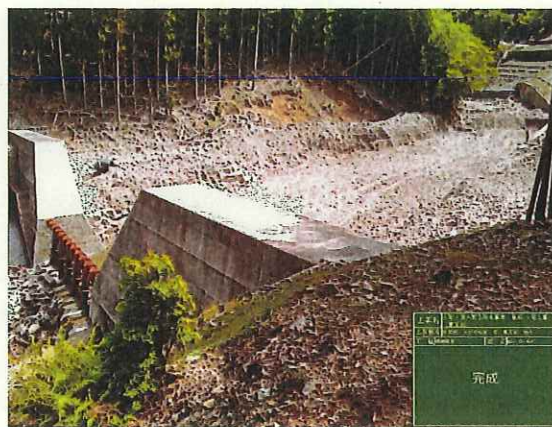
# 土砂・流木緊急除去

撤去土砂体積 6,105.0m<sup>3</sup>

事例1 大台町(東又谷)  
整備前



整備後



# 土砂・流木緊急除去

事例1 大台町(東又谷)  
整備前



整備後





## 土砂・流木緊急除去

撤去土砂体積 2,216.0 m<sup>3</sup>

事例2 松阪市飯高町(大崩)  
整備前



整備後



## 土砂・流木緊急除去

事例2 松阪市飯高町(大崩)  
整備前



整備後





# 災害に強い森林づくり推進事業のPR

## 1. パネル展示

令和元年度に各県庁舎及び各市町村庁舎等の23箇所でのPRのためのパネル展示を実施しました。

## 2. 工事現場でのPR

各工事実施現場で「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることをPRするため、下記の①～③を実施しました。

- ① 施工前に「のぼり」を設置
- ② 施工中に工事看板を設置
- ③ 完成後にPR標柱を設置

## 3. 事業実績を三重県HPに公開

平成26年度～平成29年度の事業実績として、事業箇所一覧表、位置図及び箇所ごとの整備図面、整備対比写真を公開しています。(平成30年度の事業実績については現在準備中です。)



# 災害に強い森林づくり推進事業 PRパネル展示等の展示場所及び展示期間

## 県庁舎

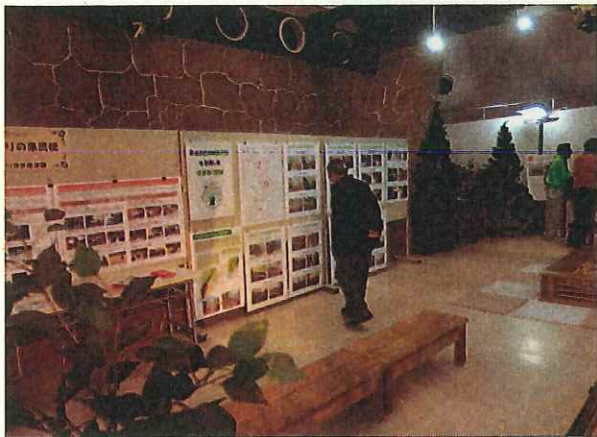
	展示場所	展示期間		
四日市庁舎	四日市庁舎1F県民ホール	令和2年1月20日	～	令和2年1月31日
津庁舎	三重県津庁舎1F玄関ホール	令和2年2月17日	～	令和2年2月27日
松阪庁舎	松阪庁舎1F玄関ホール	令和元年12月20日	～	令和2年1月10日
伊勢庁舎	伊勢庁舎1F玄関前ホール	令和2年1月27日	～	令和2年2月7日
伊賀庁舎	伊賀庁舎2F県民ホール	令和2年1月15日	～	令和2年1月31日
尾鷲庁舎	尾鷲庁舎1Fホール	令和2年1月6日	～	令和2年1月20日
熊野庁舎	熊野庁舎1F県民ホール	令和2年1月27日	～	令和2年2月7日
本庁舎	本庁舎1F県民ホール	令和2年3月16日	～	令和2年3月27日

## 市町村庁舎等

	展示場所	展示期間		
木曾岬町	木曾岬町役場 3階ロビー	通年		
鈴鹿市	鈴鹿市役所 1階 市民ギャラリー	令和2年1月31日	～	令和2年2月6日
桑名市	桑名市役所本庁舎2階 農林水産課 掲示スペース	令和2年1月17日	～	令和2年2月3日
亀山市	亀山市役所2階産業振興課 森林林業グループカウンター等	令和元年1月23日	～	令和2年12月25日
朝日町	朝日町役場2階大会議室前廊下	令和2年2月17日	～	令和2年3月6日
津市	津市白山庁舎2階階段壁面	令和2年2月19日	～	令和2年5月末
名張市	名張市庁舎1F市民ホール	令和2年2月3日	～	令和2年2月12日
伊賀市	伊賀市庁舎1F市民ホール	令和2年2月13日	～	令和2年2月27日
松阪市	松阪市飯高地域振興局1F窓口	令和2年1月6日	～	令和2年2月12日
大台町	大台町役場宮川総合支所1F玄関	令和2年2月17日	～	令和2年3月16日
明和町	明和町役場庁舎内 (1F研修室前ロビー)	令和2年3月9日	～	令和2年3月23日
多気町	多気町民文化会館	令和2年3月9日	～	令和2年3月27日
熊野市	熊野市文化交流センター	令和2年2月8日		令和2年2月13日
御浜町役場	役場1階ホール	令和2年2月17日		令和2年2月28日
紀宝町役場	役場産業振興課前	令和2年3月16日		令和2年3月31日
みえこどもの城	1Fイベントホール	令和元年12月6日	～	令和元年12月6日



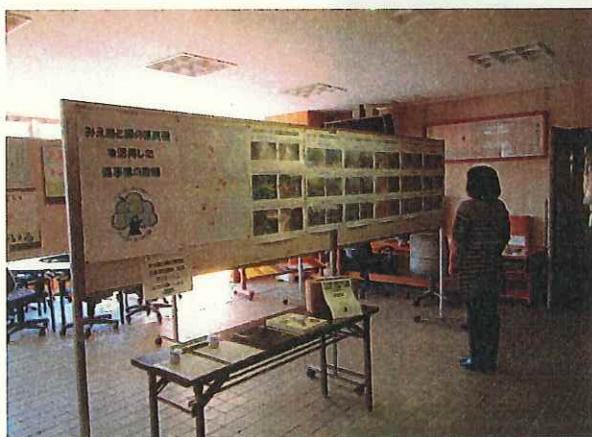
# 県庁舎及び市町村庁舎等の PRパネル展示状況



みえこどもの城



四日市庁舎



尾鷲庁舎



木曾岬町役場



# 工事現場のPR状況

## 1. 施工前に「のぼり」を設置



## 2. 施工中の工事看板に税の内容を記載して設置



## 3. 完成後にPR標柱を設置







現在位置: [トップページ](#) > [観光・産業・しごと](#) > [森林・林業](#) > [みんなを支える森林づくり](#) > [みえ森と緑の県民税](#) > [県の取組](#) > [平成29年度災害に強い森林づくり推進事業の取組実績](#)  
 担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [みどり推進班](#)

- ≡ みえ森と緑の県民税
- [トピックス](#)
- [評価制度](#)
- [県の取組](#)
- [市町の取組](#)



## 平成29年度災害に強い森林づくり推進事業の取組実績

### 「みえ森と緑の県民税」を活用した県で取り組む事業

三重県では、近年頻発する豪雨等の異常気象による山地災害を防ぐため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂の流出の発生のある恐れのある渓流沿いの森林において、「災害に強い森林づくり推進事業」に取り組んでいます。

「災害に強い森林づくり推進事業」は、次の2つの事業を実施しています。

- ①「災害緩衝林整備事業」では、渓流内の危険木の除去、流木や土砂の流出を軽減するための森林整備。
- ②「土砂・流木緊急除去事業」では、治山施設等に異常に堆積して流出の恐れがある土砂や流木の除去。

平成29年度に実施した箇所を以下の一覧表にまとめましたのでご覧ください。

また、一覧表の地図写真欄のPDFをクリックすると箇所毎の地図と写真（整備前と整備後の対比写真）がご覧になれます。

[平成29年度事業位置図](#) ①

### 平成29年度災害に強い森林づくり推進事業実施箇所一覧表

#### ①災害緩衝林整備事業

市町名	大字等	地区名	危険木等除去体積(m3)	調整伐面積 (ha)	地図写真
亀山市	関町市之瀬	上野	78	1.60	<a href="#">PDF</a> ②
亀山市	関町坂下	大瀧	49	3.65	<a href="#">PDF</a>
亀山市	加太神武	奥平	233	5.72	<a href="#">PDF</a>
津市	芸濃町河内	中ノ谷	270	6.14	<a href="#">PDF</a>
津市	安濃町草生	峯山(北大谷川)	50	2.12	<a href="#">PDF</a>
津市	安濃町草生	峯山(大谷川)	351	5.53	<a href="#">PDF</a>
松阪市	袖原町	寺谷	35	1.27	<a href="#">PDF</a>
松阪市	飯高町粟野	風の谷	218	5.47	<a href="#">PDF</a>
多気町	長谷	坂本	100	2.52	<a href="#">PDF</a>
大台町	栗谷	宮の谷1	493	0.49	<a href="#">PDF</a>
多気町	楸形	卯山	48	0.00	<a href="#">PDF</a>
松阪市	飯南町深野	ケンノ谷	66.1	0.00	<a href="#">PDF</a>
度会町	栗原	本郷	57	4.47	<a href="#">PDF</a>
大紀町	永会	若瀬谷	54	20.73	<a href="#">PDF</a>
大紀町	柏野	櫻谷	42	11.55	<a href="#">PDF</a>
伊賀市	川北	一本松	95	6.63	<a href="#">PDF</a>
伊賀市	安部田	コロ谷	67	1.57	<a href="#">PDF</a>
紀北町	島原	道瀬谷	28	0.81	<a href="#">PDF</a>
紀北町	十須	柏八谷	111	3.23	<a href="#">PDF</a>
紀北町	十須	大野内	40	0.00	<a href="#">PDF</a>
熊野市	神川町	柳谷	22	8.34	<a href="#">PDF</a>
御浜町	阪本	奥ノ坪	351	6.75	<a href="#">PDF</a>
紀宝町	桐原	大地山	243	2.30	<a href="#">PDF</a>



紀宝町	桐原	大地山その2	444	5.12	<a href="#">PDF</a>
合計			3,545	106.01	

②土砂・流木緊急除去事業

市町名	大字等	地区名	土砂撤去体積 (m3)	流木撤去体積 (m3)	地図 写真
亀山市	加太板屋	千代ヶ藪	73	6.8	<a href="#">PDF</a>
松阪市	飯高町舟戸	大崩	4,652		<a href="#">PDF</a>
大台町	検原	東又谷	15,050		<a href="#">PDF</a>
紀北町	小浦	桜谷		105.3	<a href="#">PDF</a>
熊野市	紀和町湯ノ口	野放	162	19.4	<a href="#">PDF</a>
合計			19,937	131.5	

本ページに関する問い合わせ先

三重県 農林水産部 みどり共生推進課 みどり推進班

〒514-8570 津市広明町13番地 (本庁6階)

電話番号: 059-224-2513 ファクス番号: 059-224-2070 メールアドレス: [midori@pref.mie.lg.jp](mailto:midori@pref.mie.lg.jp)

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

- |                          |                                |                           |                                |
|--------------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| お求めの情報は充分掲載されていませんか？     | <input type="radio"/> 充分だった    | <input type="radio"/> ぶつう | <input type="radio"/> 足りなかった   |
| このページの内容や表現は分かりやすかったですか？ | <input type="radio"/> 分かりやすかった | <input type="radio"/> ぶつう | <input type="radio"/> 分かりにくかった |
| この情報はすぐに見つけられましたか？       | <input type="radio"/> すぐに見つかった | <input type="radio"/> ぶつう | <input type="radio"/> 時間がかった   |

送信する

ページID: 000228696

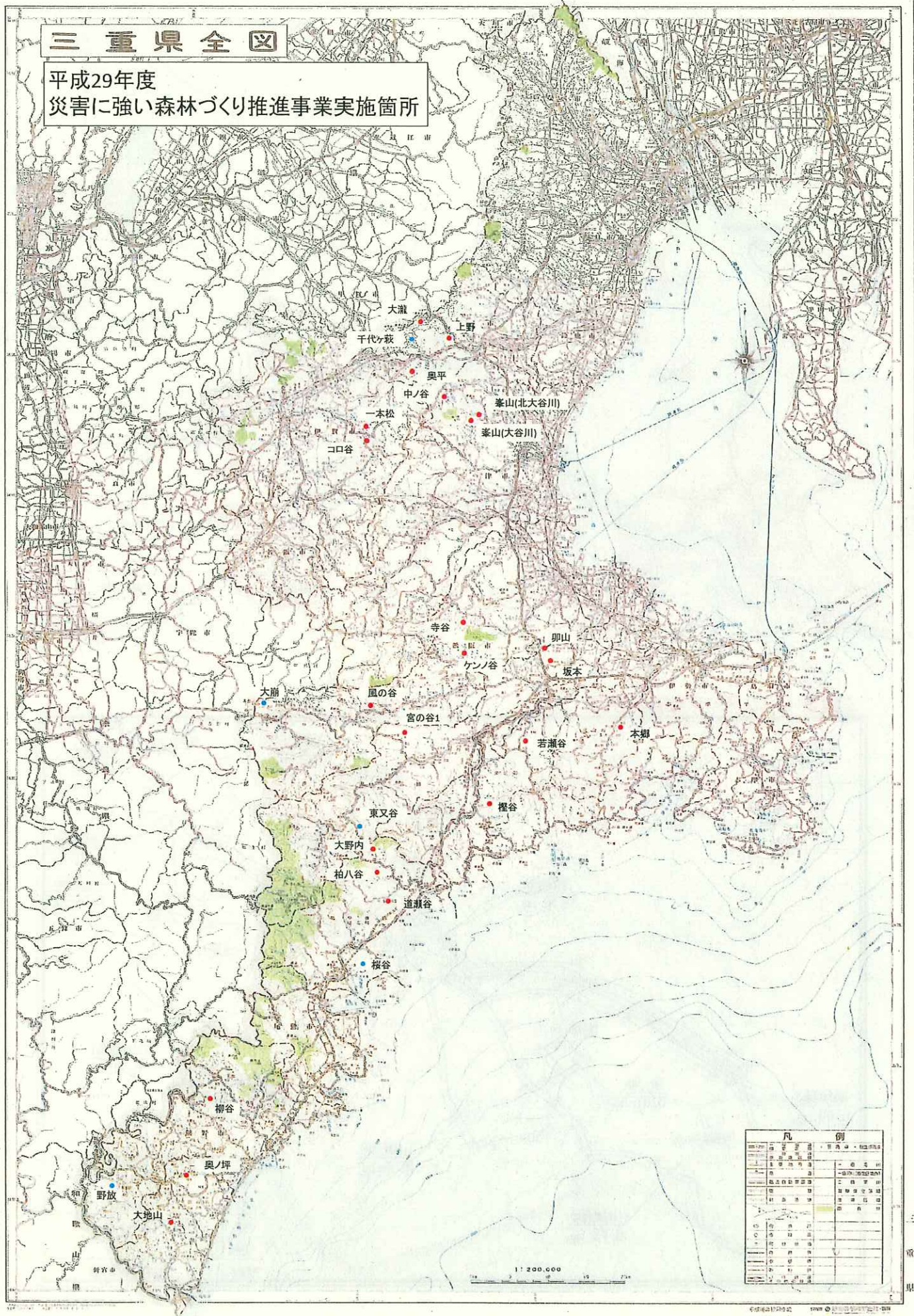
[このページのトップへ](#)

[リンク・著作権・免責事項・ダウンロード](#) | [個人情報保護ポリシー](#) | [ウェブアクセシビリティ](#) | [サイトに関するご意見・お問い合わせ](#)

**三重県庁** | 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県庁電話案内: 059-224-3070 法人番号5000020240001 [県庁案内](#)

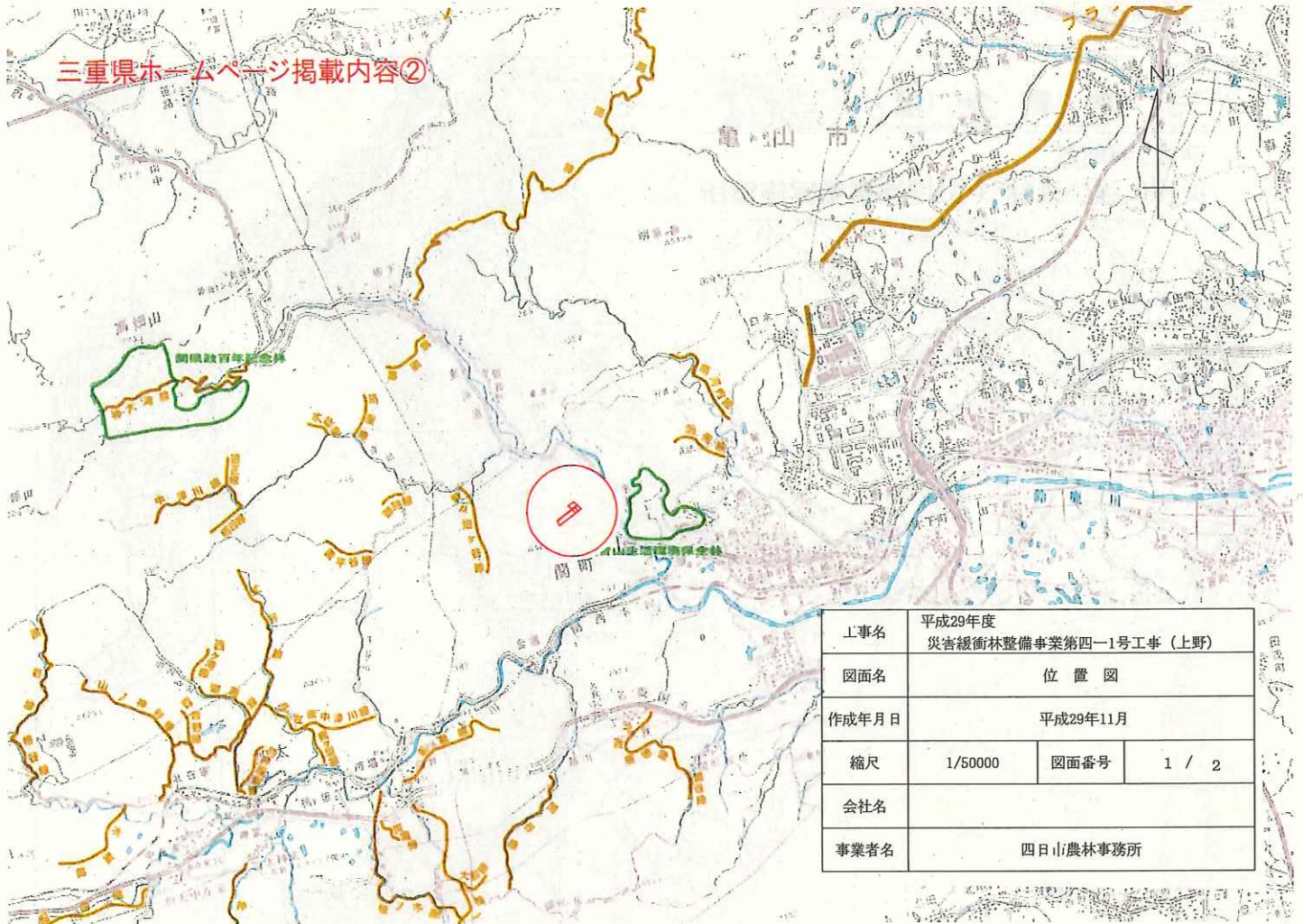
各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。 Copyright © 2015 Mie Prefecture, All rights reserved.





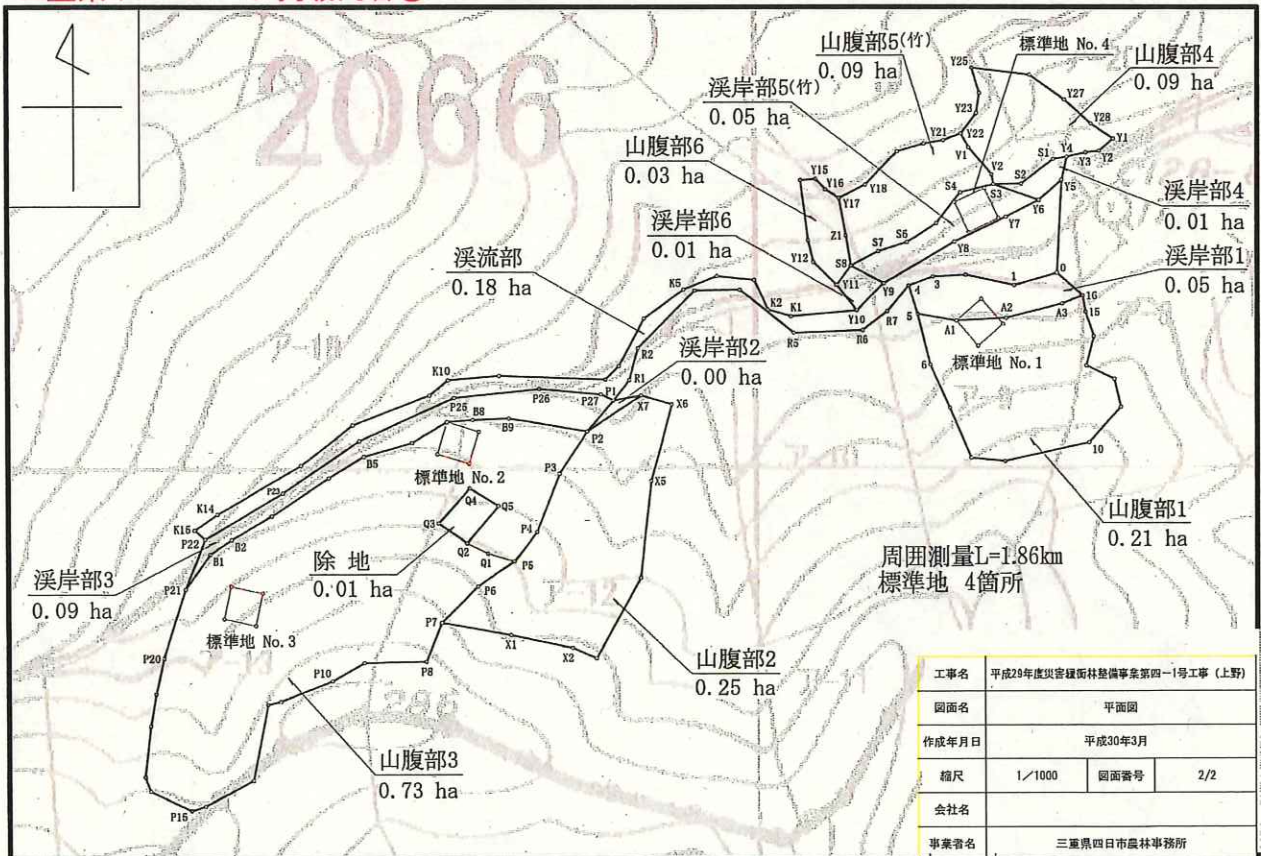


三重県ホームページ掲載内容②



工事名	平成29年度 災害緩衝林整備事業第四-1号工事（上野）		
図面名	位置図		
作成年月日	平成29年11月		
縮尺	1/50000	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	四日市農林事務所		

三重県ホームページ掲載内容②



工事名	平成29年度災害緩衝林整備事業第四-1号工事（上野）		
図面名	平面図		
作成年月日	平成30年3月		
縮尺	1/1000	図面番号	2/2
会社名			
事業者名	三重県四日市農林事務所		



## 溪流部 危険木除去

上野

整備前



整備後



## 溪岸部 調整伐

上野

整備前



整備後





## 山腹部 調整伐

上野

整備前



整備後



## 山腹部 土砂止め設置

上野

整備後





## 伐採作業状況

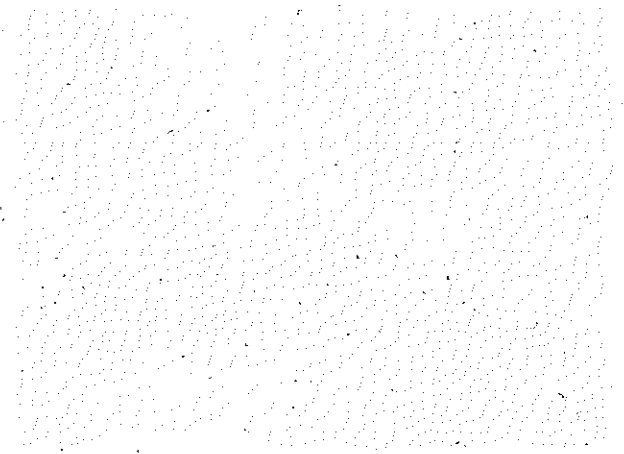
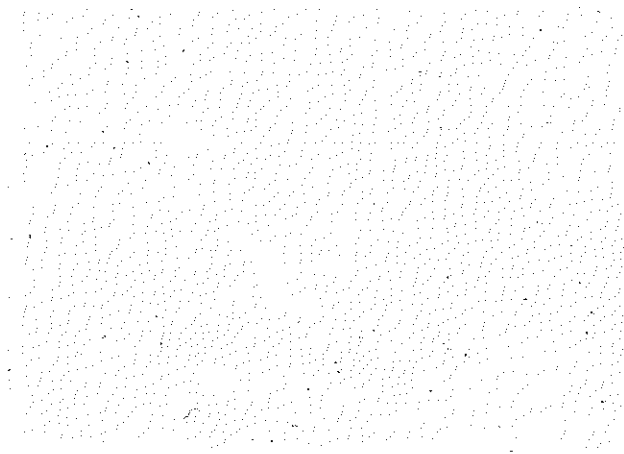
上野



## 山腹引上げ状況





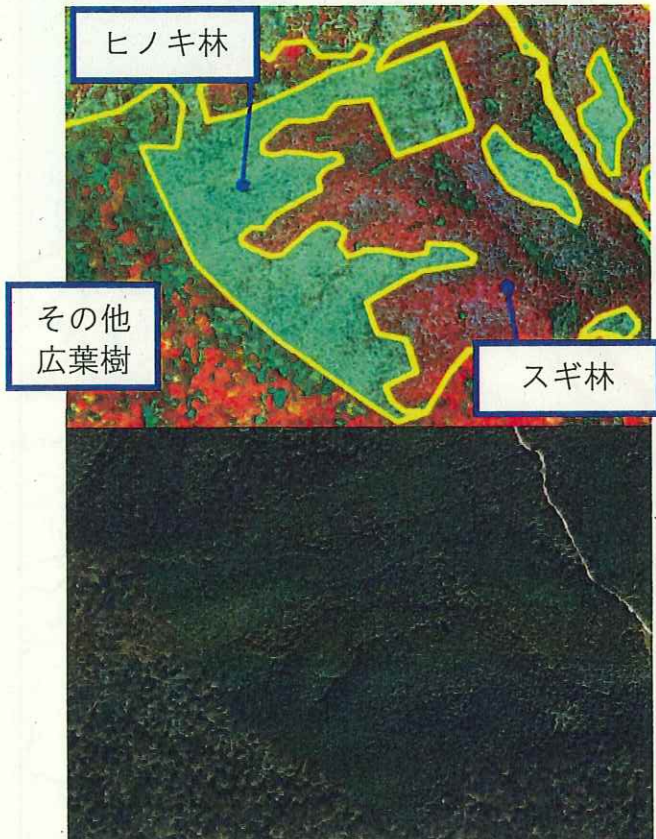




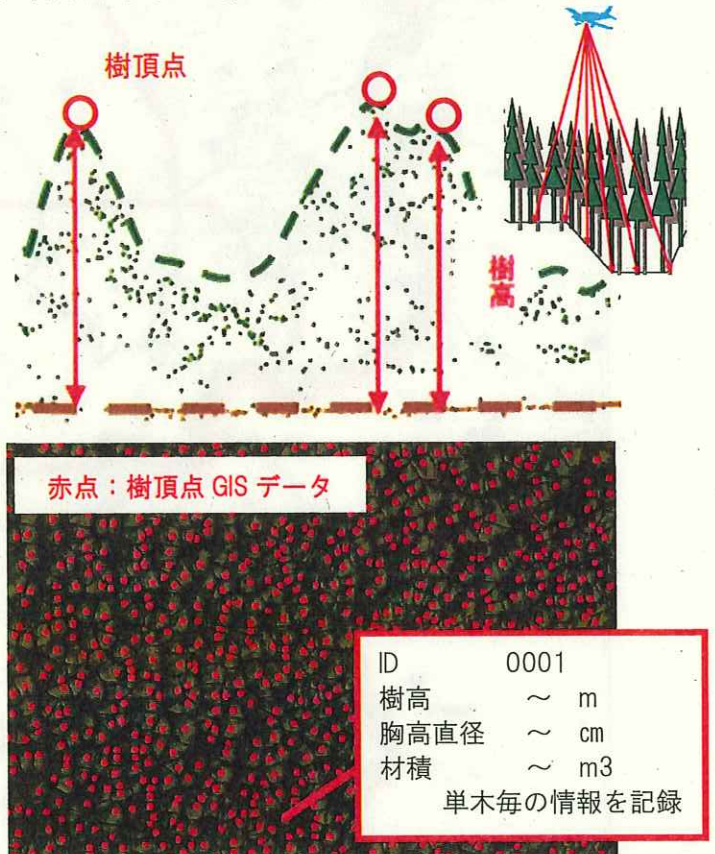
# 森林情報基盤整備事業

樹種や樹高、立木密度、材積等の森林資源情報を正確に把握することは、森林整備を行ううえで重要であるとともに、精度の高い3次元地形データを取得することにより、災害発生の危険性の高い地域等を効率的に把握することが可能となることから、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施します。

## ① レーザ反射強度を利用し、樹種を分類



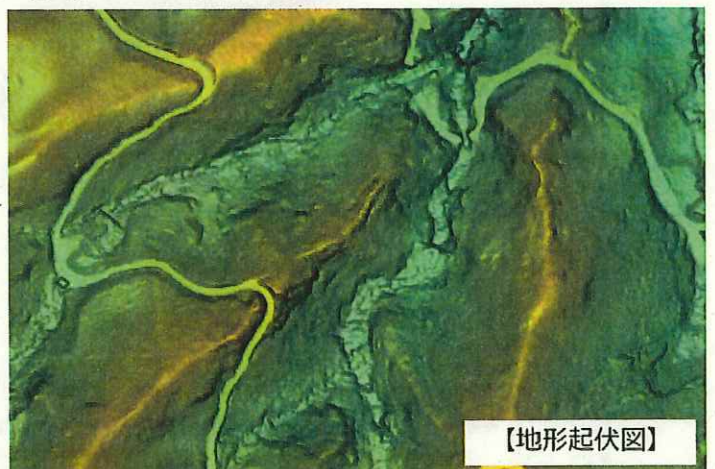
## ② 樹頂点位置を推定し、単木情報を解析



## ③ 単木情報を林分ベースで集約



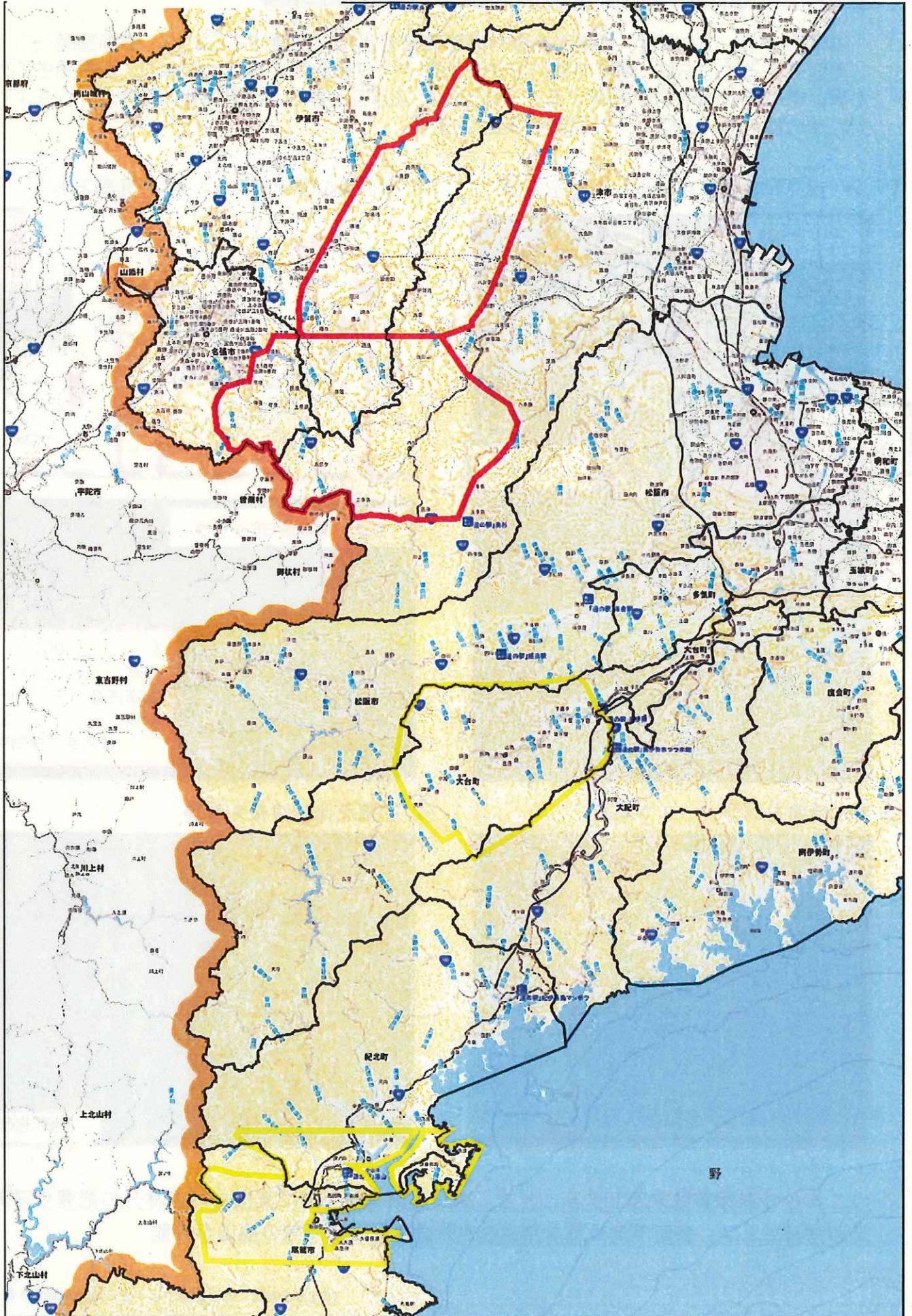
## ④ 詳細な地形情報を取得



⇒これらの森林情報を活用することで、森林整備を優先的に実施すべき林分の把握や詳細な微地形情報により、表面浸食や流木発生等が懸念される箇所等の抽出が可能



# 航空レーザ測量の実施状況



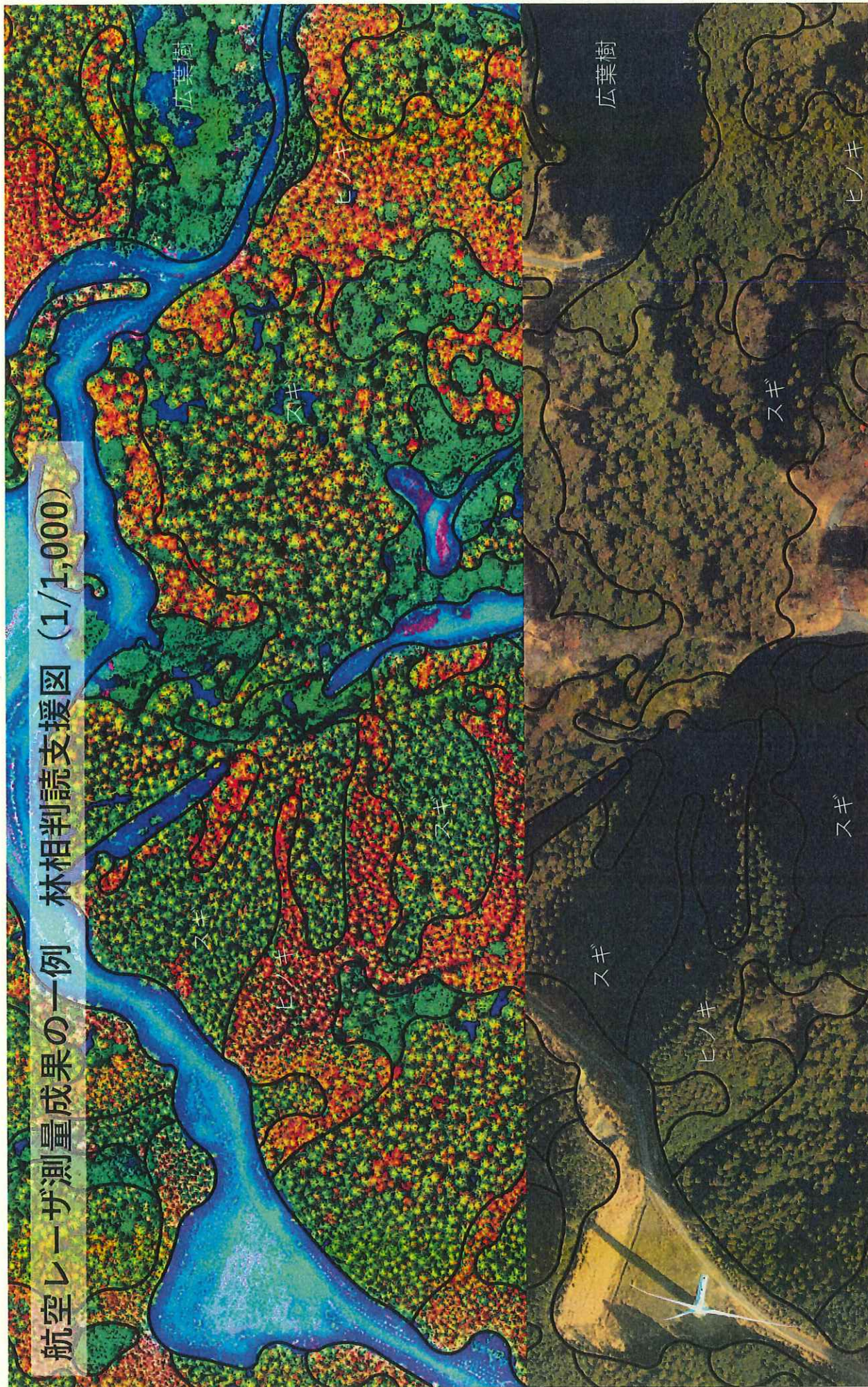
森林計画図は、県が森林資源の把握のために利用しているものであるため、現地において実測や確認を行った場合、必ずしも正しく表示しているとは限りません。この地図は、三重県市町総合事務所が所管する「三重県共有デジタル地図(数値地形図2500G(道路幅1000)、写真地図地上解像度20cmまたは40cm)」の使用承認を得て、三重県森林資源情報管理システム(森林クラウド)で作成しています。(承認番号:R1.11.20三綜合地第186号)

縮尺 1 : 360000

5000 2500 0 5000 1000



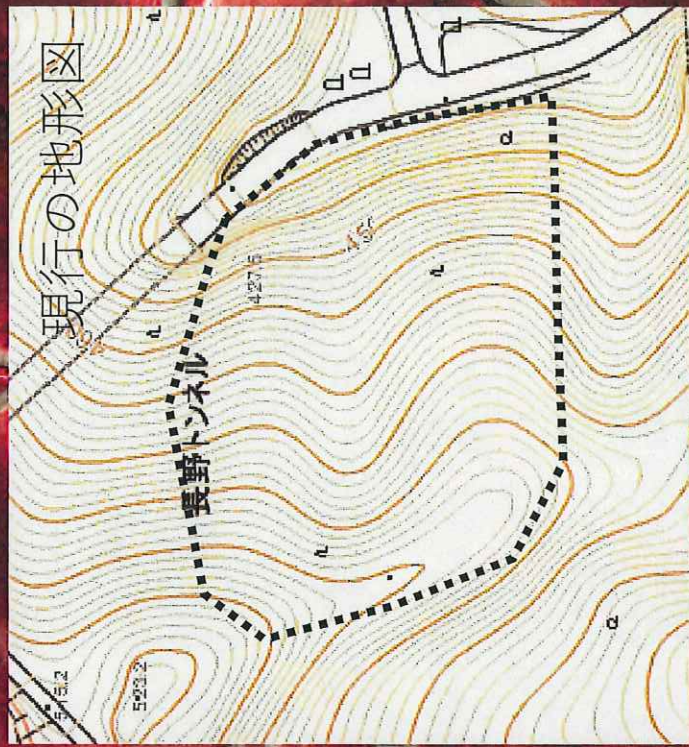
航空レーザー測量成果の一例 林相判読支援図 (1/1,000)



飛行機からレーザーを照射し、反射した光の強さ等を用いて色調を調整することで、樹種の違いが分かりやすくなる林相判読支援図を作成しました。空中写真(下)では影で見えづらいため、林相判読支援図(上)では、判読しやすくなります。



航空レーザ測量成果の一例 立体地形表現図 (1/1,000)

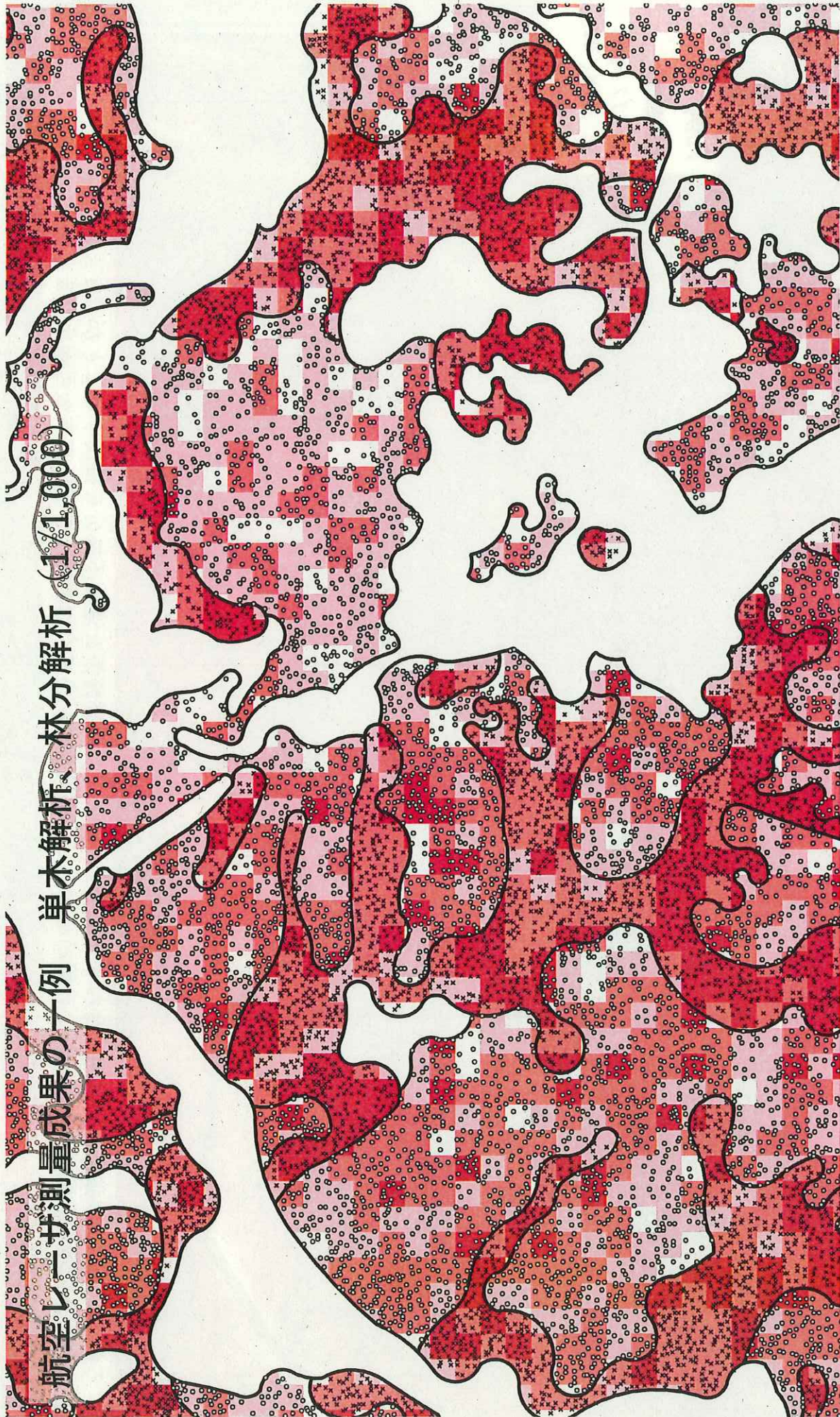


飛行機からレーザ光を照射し、反射した位置を算出することで、詳細に地形を計測し、立体地形表現図を作成しました。  
現行の空中写真から作成した等高線図(右)では微地形は読み取ることができませんが、航空レーザ測量で作成した立体地形表現図(左)では、地形の崩れや浸食状況などを読み取ることができます。

従来、現地に行かなければわからなかった情報が事前に机上でわかるため、危険で重労働であった現地調査を省力・軽減することができま



航空レーザ測量成果の一例 単木解析、林分解析 (1/1,000)



航空レーザを照射したデータを解析することで、立木の位置や樹高、胸高直径等を1本ずつ推定しました。

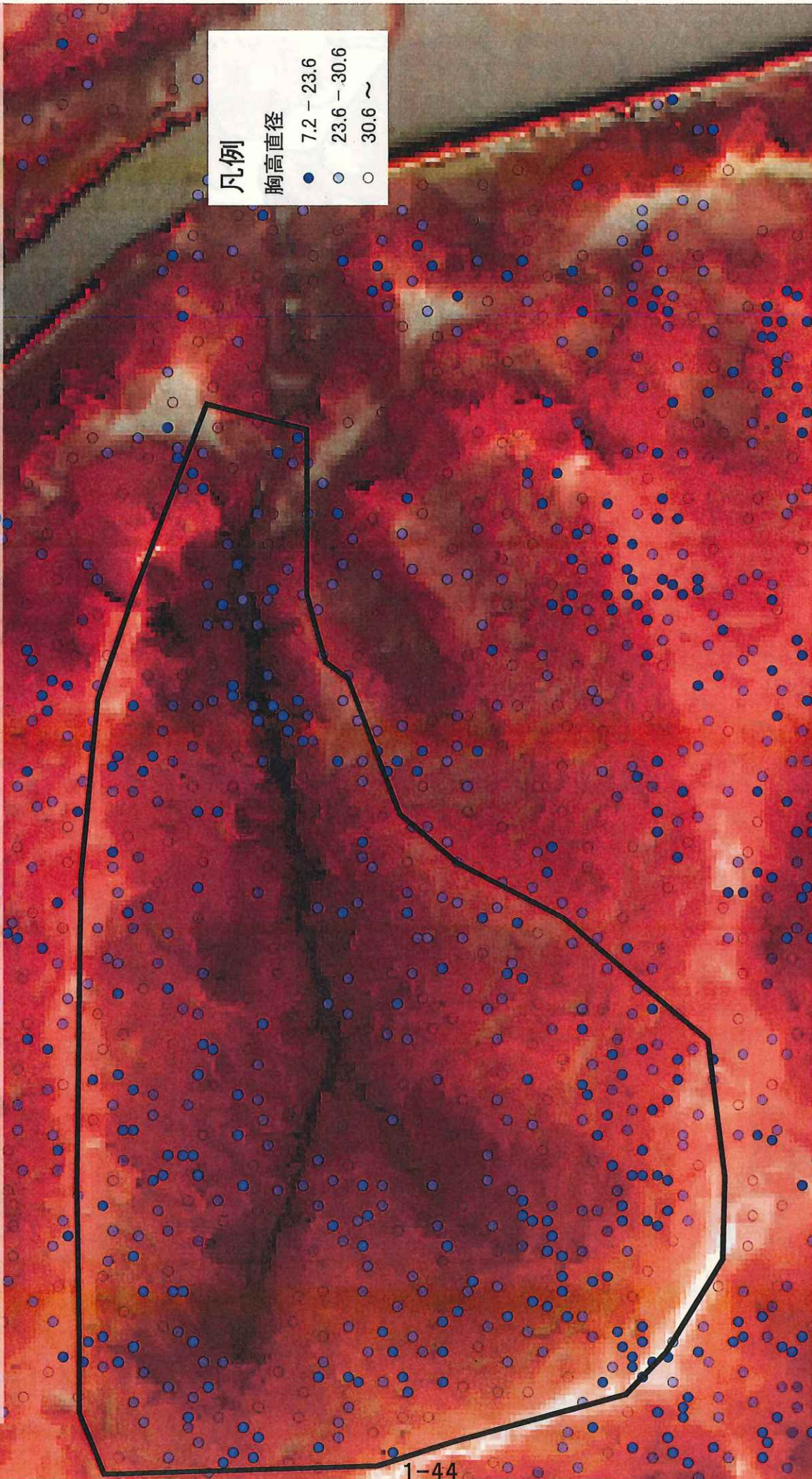
(上の地図では、黒い×印はヒノキを示しており、白い○印はスギを示しています。)

また、単木解析の結果を10mメッシュ毎に集約しました。面的に情報を把握することができません。

(上の地図では、赤が濃い箇所が密な林分で、薄い箇所が疎な林分です。)



航空レーザー測量成果の組み合わせ例 単木解析（胸高直径） + 立体地形表現図（1/500）



これらの成果を単独あるいは組み合わせで活用することで、森林整備を進める林分を抽出することができず。  
(例) 立体地形表現図から溪流沿いの箇所を探索し、胸高直径が小さく流木化しやすい立木を可視化しました。



# 森を育む人づくりサポート体制整備事業

令和2年5月末現在

## 1. 事業の目的

この事業は、みえ森と緑の県民税市町交付金等を活用した地域の森林環境教育・木育や森づくり活動を促進するため、活動の基盤となる指導者の一定水準の知識・技術の習得を目指した育成を行うとともに、活動にかかるコーディネートや相談対応、情報収集・発信、普及啓発、教材の提供、道具の貸出等を行い地域の取組を支援するものです。

## 2. 令和元年度の進捗状況

### (1) みえ森づくりサポートセンターの運営

地域で行う森林環境教育・木育や森づくり活動の促進を図るため、総合窓口として津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」を運営しました。同センターでは、市町や学校、森林環境教育指導者（森のせんせい）等からの森林環境教育・木育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林環境教育・木育に関する情報収集と発信、普及啓発を行いました。

内容	件数	調整・連携の相手
森林環境教育・木育に関する相談対応	1456	県・市町 517、学校等 427、森のせんせい 318、その他 194
森づくり活動に関する相談対応	85	市町 43、森づくり活動団体 17、森のせんせい 12、その他 13
森林環境教育・木育に関する情報の収集及び発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森のせんせい座談会開催（3回）</li> <li>・パンフレット作成、森づくりニュース発行（年4回）</li> <li>・メールマガジン発行、ホームページ運営、Facebook、Instagramによる発信</li> </ul>



### 情報発信：森づくりニュース

配架等のほか、民間企業を通じて子育て世代への各戸配付を行いました。



## 森林環境教育・木育及び森づくり活動の推進

みえ森づくりサポートセンターが主体となり、学校や地域での森林環境教育・木育の取組が幅広く推進されるよう、指導者の技術力向上のための支援や体制づくりを行いました。

### ① 体系的な指導者の育成

指導者の技術や経験等に応じて順序立てた複数の講座・研修を実施して、ステップアップ式に森林環境教育・木育の技術力の向上を図り、学校等の幅広い要求に対応可能な一定レベル以上の指導者の育成を行いました。

令和元年度は特に、市町の特性や地域の課題を踏まえた地域講座を新たに創設し、津市、松阪市、玉城町、伊賀市で計4回実施しました。(四日市市、伊勢市、熊野市で予定していた地域講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)

また、森のせんせいスキルアップ講座として、LEAF ローカルインストラクター研修、コミュニケーション研修と木育指導者養成講座を実施しました。



森のせんせいスキルアップ講座  
(LEAF ローカルインストラクター研修)

多層的に森林を学び、LEAF ローカルインストラクターとしての能力を得る。



森のせんせいスキルアップ講座  
(コミュニケーション研修)

主に幼児を対象としたインテリプリテーションについての講話の後、受講者が実践を行い、指導者としての基礎技術向上を図る。



森のせんせいスキルアップ講座(木育指導者養成講座中級研修)  
木育指導者としてのスキルアップを図り、その実践として地域講座(木育指導者養成講座(初級編))の講師を務める。



併せて、指導者実践の場として、「森の学校」を開催しています。森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが森林散策や木工体験等を実施しました。

令和元年度は、年間を通じた開催のほか、三重県総合博物館(MieMu)とのタイアップ開催も行い、合計で31回開催しました。


# 10月は「三重のもりづくり月間」

## 森の学校

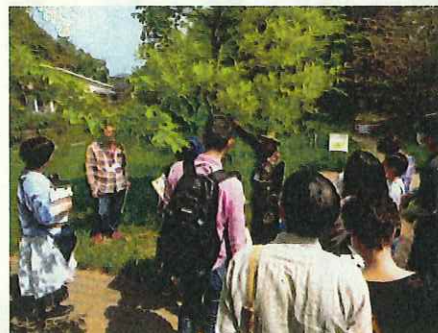
森林散策・木工体験・木のおもちや  
県内各地でイベント開催！  
森や木について楽しく体験しよう。

地域	開催日	時間	会場
四日市	9月29日(日)	10:00-15:00	三重県立総合文化センター
津	11月2日(土)	9:30-15:00	第14回森林ふれあふり 日輪・東勢カワボロ公園
伊勢	10月6日(日)	10:00-15:00	伊勢動物園 三重県立サテライト
尾鷲	11月2日(土)	10:00-15:00	尾鷲市立中央公民館 尾鷲市立中央公民館
松阪	10月14日(月祝)	10:00-15:00 10:00-15:00	松阪市立中央公民館 松阪市立中央公民館
能登	11月3日(日祝)	10:00-15:00	能登町立中央公民館
松阪	12月7日(土)	10:00-15:00	松阪市立中央公民館

三重県は、毎年10月を「三重のもりづくり月間」に定めています。県内各地域で、森林や木について楽しく学んでいただくイベント「森の学校」を開催しますので、皆さんぜひご参加ください！このイベントは、「みえ森と緑の県民税」を活用して開催します。



### 10月森づくり月間「森の学校」チラシ



三重県総合博物館 (MieMu) での森の学校の様子

※企画展のタイアップイベントとして実施

(左) 森のせんせいによる葉っぱの説明

(右) フィールドでの葉や木の木の観察



森林環境教育・木育指導者養成講座等実績（3回は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止）

分類	講座名	内容など	対象者	受講人数	講師	講座開催場所	開催時期
森林環境教育・木育	地域講座(四日市地域) 森林環境教育指導者養成講座 (アクティブラーニング編)	アクティブラーニングの手法について学び、理解して森林環境教育や木育の活動に取り入れられるようするための知識の習得	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	15	一般社団法人SDGsコミュニティ代表 新海洋子氏	三重県四日市市庁舎	令和2年 3月28日(土)
	地域講座(津地域) 森林環境教育指導者養成講座(知識編)	森林環境教育を教育現場や地域で実施したいという意識向上と基礎的な知識の習得	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	15	三重大学生物資源学 研究科准教授 沼本晋也氏	三重県林業研究所	令和2年 3月1日(日)
	地域講座(松阪地域) 木育指導者養成講座(初級編)	木育を教育現場や地域で実施したいという意識向上と基礎的な知識の習得	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	20	木育インストラクター 講師 長谷川彰氏 森のせんせい	松阪市木の郷町18 スマッキー	令和元年 11月30日 (土)
	地域講座(伊勢志摩地域) 森林環境教育・木育指導者養成講座 (見学編)	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意識向上と基礎的な知識の習得	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	15	森のせんせい 藤川和彦氏 いせしま森林組合	玉城町立下外城田小学校 玉城町保徳福祉会館	令和2年 1月17日(金)
	地域講座(伊勢志摩地域) 森林環境教育指導者養成講座(技術編)	森林環境教育や木育を教育現場や地域で実施したいという意識向上と基礎的な知識の習得	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	10	木村京子氏 (三重県環境学習情報センター 副センター長)	皇學館大学	令和2年 9月15日(金) 3月29日(日)
	地域講座(伊賀地域) 森林環境教育指導者養成講座(保 育編)	名張地域の保育士の方を対象に、身近な自然を活用して、幼児と野外で接し、自然を活かした幼児教育を実践していくための基礎的な知識の習得	保育士、市町職員	10	嘉成永慈氏 (一般社団法人 森の風 森の風しぜん学校、森の風ようちえん)	名張市立藤原保育所 名張市藤原市民センター	令和2年 2月27日(木)
	地域講座(尾鷲、熊野地域) 森林環境教育・木育指導者養成講座 クック普及指導員養成講習会	木育の展開を図るために、木を使ったニュースポーツ「クック」の普及指導員養成講習を実施し、クックの普及指導員になるための知識、技術を学ぶことで、今後の普及へとつなげる。	教員、保育士、市町職員、指導者になる方とする者	40	日本クック協会 高橋伸氏	熊野古道センター	令和2年 9月7日(土) 3月8日(日)
	森のせんせいスキルアップ講座	森のせんせい等	森のせんせい等	10	NPO法人FEE Japan	松阪市森林公園	令和元年 7月20日(土) ~21日(日)
	森のせんせいスキルアップ講座 (LEAFローカルインストラクター研 修)	LEAFローカルインストラクター研修 (コアディネーター養成研修) 森林環境教育プログラムの体験を通じ、企画手法を学習	森のせんせい等	20	(公財)キープ協会	三重県林業研究所 座学:交流館 野外実習:林業研究所内森林	令和元年 9月21日(土)
	森のせんせいスキルアップ講座 (コミュニケーション研修)	森林環境教育コミュニケーション能力向上研修 インタープリターとしてのコミュニケーション能力の習得	森のせんせい等	15	木育インストラクター 講師 長谷川彰氏	三重県林業研究所 松阪市木の郷町18 スマッキー	令和元年 8月25日(日) 10月27日(日) 11月30日(土)

中止

中止

中止



② 学校教職員を対象とした研修の実施

学校での森林環境教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修を行いました。

学校教職員森林環境教育講座

講座名	内容など	対象者	募集人数	受講人数	講師	講座開催場所	開催時期
学校教職員森林環境教育研修	学校教職員テーマ研修（県教育委員会研修センター） 授業での実践方法の習得 座学：「持続可能な環境づくり～学校で取り組むESD～」 実習：「子どもたちと簡単にできる校庭の木の調べ方」	学校教職員 他	20	14	三重大学 平山准教授	三重大学教育学部 201 教室	令和元年 7月26日（金）

③ 森のせんせい等のネットワークの構築

森のせんせい等のネットワーク構築のため、県内の3地域において座談会を開催しました。

森のせんせい・森づくり活動団体座談会

講座名	内容など	対象者	募集人数	受講人数	講師	講座開催場所	開催時期
森のせんせい・森づくり活動団体座談会 （北勢地域）	意見交換・情報共有により、相互のネットワークを醸成する。	森のせんせい、 森づくり活動団体 等	—	5	—	三重県環境学習情報センター	令和元年 6月30日（日）
森のせんせい・森づくり活動団体座談会 （中南勢・伊賀地域）	意見交換・情報共有により、相互のネットワークを醸成する。	森のせんせい、 森づくり活動団体 等	—	9	—	三重県林業研究所	令和元年 6月19日（水）
森のせんせい・森づくり活動団体座談会 （尾鷲・熊野地域）	意見交換・情報共有により、相互のネットワークを醸成する。	森のせんせい、 森づくり活動団体 等	—	3	—	熊野古道センター	令和元年 6月22日（土）



#### ④ みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催しました。

写真教室には 29 名が参加し、みえの森フォトコンテストには 144 点の応募がありました。

みえの森フォトコンテストの最優秀賞と優秀賞の受賞者は、「みえ子ども森の学びサミット」において表彰し、入賞作品は「みえ子ども森の学びサミット」会場のほか、県民ホールや大型商業施設等で展示しました。



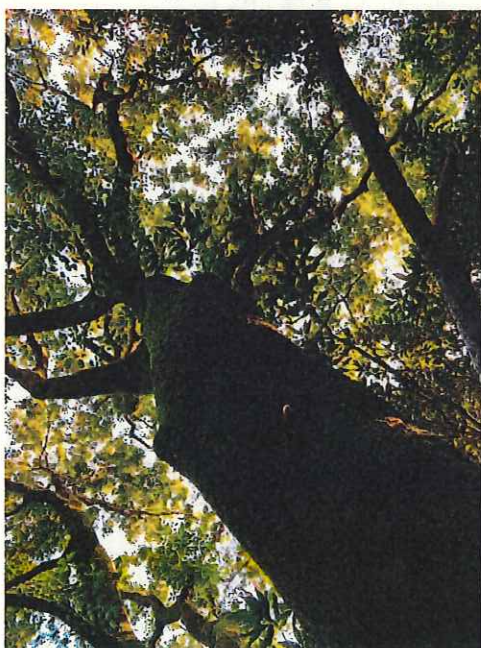
(左) 子ども森の写真教室

普段使っているカメラでの上手な撮影方法を学び、実際に写真撮影を行う。

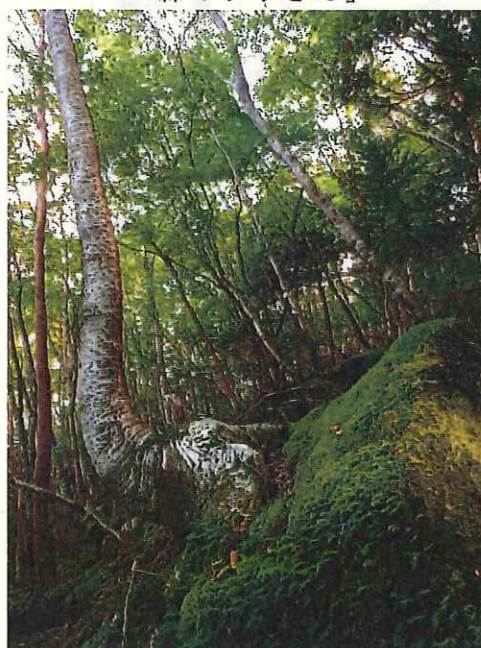
(上) 第6回みえの森フォトコンテスト表彰式

最優秀賞と優秀賞の受賞者は、「みえ子ども森の学びサミット」において表彰した。

第6回みえの森フォトコンテスト  
小学生以下の部 最優秀賞作品  
「森の守り主」



第6回みえの森フォトコンテスト  
中学生以上の部 最優秀賞作品  
「森のゾウさん」





第6回みえの森フォトコンテスト等開催実績

講座名	内容など	対象者	募集人数	受講人数	講師	講座開催場所	開催時期
こども森の写真教室	写真撮影を通じた森林環境教育 森林への興味関心の高揚	県内小・中学生 ※小学生は保護者同伴	15組 30人	11組 29人	写真家 松原 豊氏	レクチャラー：「森の写真」の撮り方 撮影会：林業研究所内森林	令和元年 8月4日(日)
第6回みえの森フォトコンテスト	写真撮影を通じた森林環境教育 森林への興味関心の高揚	県内の18歳以下・小学生以下の部 ・中学生以上の部	—	144点	写真家 松原 豊氏 三重大学 平山准教授	みえ子ども森の学びサミット 会場で表彰式を実施 (みえこどもの城(松阪市))	【表彰式】 令和元年 12月7日(土)

(参考)これまでの「みえの森フォトコンテスト」応募状況

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
応募者数				
幼・保育園(未就学児)	1	1	4	1
小学生	25	13	14	9
小学生以下の部 計	26	14	18	10
中学生	3	3	7	8
高校生等	36	34	38	1
中学生以上の部 計	39	37	45	9
合計	65	51	63	16
応募作品数				
幼・保育園(未就学児)	1	2	7	2
小学生	57	38	38	61
小学生以下の部 計	58	40	45	63
中学生	9	9	21	24
高校生等	77	51	32	4
中学生以上の部 計	86	60	53	28
合計	144	100	98	71



#### ⑤ 出前授業のコーディネート

市町、学校、保育所等で森林環境教育や木育活動の予算化がなされていない場合、取組を支援するため、森林環境教育・木育の指導者の紹介やプログラム作成等を行い、依頼に応じた出前授業を実施しています。

令和元年度は出前授業を9回実施しました。(予定していた10回のうち1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)

#### 大台町立三瀬谷小学校(大台町)

##### 木工作(小刀の使い方とスプーンづくり)

- ・木のスプーン制作を通して、木の特性を知り、木の良さを感じ、親しむ。
- ・木工に必要な道具の使い方を習得する。
- ・地域産材を利用する意義について理解する。



小刀の使い方の説明



スプーン制作

#### ひまわり学童クラブ(桑名市)

##### 木について知ろう(森のクイズ、木のおもちゃ遊び、丸太切り、木工作)

- ・クイズ形式により、森林や木についての知識を深める。
- ・のこぎりの使い方を学び、実際に体験する。
- ・丸太や木のおもちゃに触れ、木の良さを感じ、親しむ。



のこぎりの使い方の説明



丸太を使った木工作



## 出前授業開催実績一覧

### 【 出前授業（県事業）】（計画 10 回）

	市町	学校名など	開催日	備考
1	津市	津市立 南が丘中学校	令和元年 6 月 3 日(月)	
2	津市	津市立 修成小学校	令和元年 6 月 14 日(金)	
3	津市	津市立 誠之小学校	令和元年 7 月 2 日(火)	
4	津市	津市立 北立誠小学校	令和元年 7 月 4 日(木)	
5	大台町	大台町立 三瀬谷小学校	令和元年 7 月 4 日(木)	
6	桑名市	ひまわり学童クラブ	令和元年 7 月 30 日(火)	
7	志摩市	志摩市立 東海小学校	令和元年 9 月 11 日(水)	
8	津市	津市立 南立誠小学校	令和元年 11 月 1 日(金)	
9	津市	津市立 高茶屋小学校	令和 2 年 1 月 20 日(月)	
10	鈴鹿市	鈴鹿市立 庄内小学校	令和 2 年 3 月 5 日(木)	※中止

※庄内小学校における出前授業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校に伴い中止。

### ⑥三重県産の木のおもちゃを体験できる「ミエトイ・キャラバン」の実施

木育の取組を広く展開するため、三重県産の木でできた木製遊具・玩具を「ミエトイ」と位置付けています。それらを体験できる場として、県内のイベントなどに「ミエトイ・キャラバン」として 20 回出展しました。



(中・右)

(左) 三重県環境学習情報センター  
(四日市市)での出展の様子  
(秋のキッズエコフェア)

みえこどもの城(松阪市)  
での出展の様子  
(みえ子ども森の学びサミット)



「森の学校」(31回)及び「ミエトイ・キャラバン」(20回)開催実績一覧

イベント名	開催場所	イベント概要	来訪者数	開催日時
木つつ木春まつり	木つつ木館(大紀町)	・ミエトイ・キャラバン in 大紀 part I ・森の学校①	(2,500人) 300人	4月6日(土)
菜の花まつり	島ヶ原温泉やぶつちや(伊賀市)	・ミエトイ・キャラバン in 伊賀 part I	(1,100人) 150人	4月14日(日)
春のキッズエコフェア	三重県環境学習情報センター	・ミエトイ・キャラバン in 四日市 part I ・森の学校②	(1,147人) 200人	4月21日(日)
森の学校 in MieMu	三重県総合博物館	・森の学校③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	300人	4月27日(土)～ 5月6日(振・月)
GWキッズ企画 ゴールデンウィークは木と遊ぶ。	高野尾花街道 朝津味	・ミエトイ・キャラバン in 津 part I ・森の学校⑪⑫	300人	5月4日(祝・土)
コドママルシェ vol.5	ひのき家(大紀町)	・ミエトイ・キャラバン in 大紀 part II ・森の学校⑬	300人	5月5日(祝・日)
夏のエコフェア 2019	三重県環境学習情報センター	・ミエトイ・キャラバン in 四日市 part II ・理の学校⑭	200人	8月3日(土)
秋のキッズエコフェア	三重県環境学習情報センター	・ミエトイ・キャラバン in 四日市 part III ・森の学校⑮	150人	9月29日(日)
伊勢市環境フェア	県営サンアリーナ	・ミエトイ・キャラバン in 伊勢 part I ・森の学校⑯⑰	400人	10月6日(日)
松阪フェス木パル 2019	松阪農業公園ベルファーム	・ミエトイ・キャラバン in 松阪 part I ・森の学校⑱⑲	150人	10月14日(祝・月)
津市農林水産まつり	津市丸之内商店街	・森の学校⑳	70人	11月2日(土)
尾鷲ヒノキふれあいフェスタ	尾鷲市民文化会館	・ミエトイ・キャラバン in 尾鷲 part I ・森の学校㉑	200人	11月2日(土)
第33回紀和ふるさとまつり	紀和B&G海洋センター	・ミエトイ・キャラバン in 熊野 part I ・森の学校㉒	350人	11月3日(祝・日)
とれたて!なばり 2019	名張市役所	・ミエトイ・キャラバン in 名張 part I ・森の学校㉓	300人	11月9日(土)
玉城ええやんまつり 2019	玉城町中央公民館	・ミエトイ・キャラバン in 玉城 part I ・森の学校㉔㉕	200人	11月17日(日)
県民参加の植樹祭 (海と山と人をつなぐ植樹祭)	紀北町 引本港	・ミエトイ・キャラバン in 紀北 part I ・森の学校㉖	300人	11月23日(祝・土)
伊賀オーガニックフェスタ	伊賀市丸柱	・ミエトイ・キャラバン in 伊賀 part II ・森の学校㉗㉘	200人	11月24日(日)
三重県林業研究所一般公開デー	三重県林業研究所	・ミエトイ・キャラバン in 津 part II ・森の学校㉙	150人	12月1日(日)
みえ子ども森の学びサミット	みえこどもの城	・ミエトイ・キャラバン in 松阪 part II ・森の学校㉚㉛	200人	12月7日(土)
みえ花フェスタ	メッセウィングみえ	・ミエトイ・キャラバン in 津 part III	400人	12月7日(土) ～8日(日)
「三重の木」で森をつくろう	イオンモール鈴鹿	・ミエトイ・キャラバン in 鈴鹿 part I	300人	1月25日(土)
自然の家のオープンデー	四日市市少年自然の家	・ミエトイ・キャラバン in 四日市 part IV	150人	2月16日(日)
三重まるごと自然体験フェア	みえこどもの城	・ミエトイ・キャラバン in 松阪 part III ・森の学校㉜㉝	中止	3月14日(土)

※三重まるごと自然体験フェアは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

※来訪者数の括弧内数字はイベント全体の来訪者数。



### ⑧ 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、縣市町および教育委員会等を対象に森づくり活動や森林環境教育・木育の推進に必要な物品等の貸出を行いました。

(貸出物品)

- ・ 森づくり活動に必要な資器材(ヘルメット、チャップス、丸太切り台 等)
- ・ 森林環境教育・木育用教材(映像「つかって元気に!」、森のはたらきパネル 等)
- ・ 森林環境教育・木育用玩具・遊具(もりぼーる、木製ジャングルジム 等)

(貸出実績)

	森のせんせい	森づくり活動 団体	縣市町	学校
貸出件数	24	8	24	5

### (2) 森林環境教育・木育の教材の提供

小学校での活用が可能な教材として、小学5年生の社会科教科書に対応した森林環境教育・木育の副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」を配布しました。



#### 森林環境教育副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」

「森のはたらき」や「森林資源の循環利用」について、分かりやすく伝えている。子どもたちに、森林を身近なものとして捉え、自分たちの暮らしと森林との関わりについて理解を深めてもらうため、森林に関する県内各地域の事例を多数紹介している。

### (3) みえ子ども森の学びサミットの開催

森林環境教育や木育の輪を広げていくため、森林や木のことを楽しみながら学んでいただくイベント「みえ子ども森の学びサミット」を、松阪市にある三重県立みえこどもの城にて開催しました。





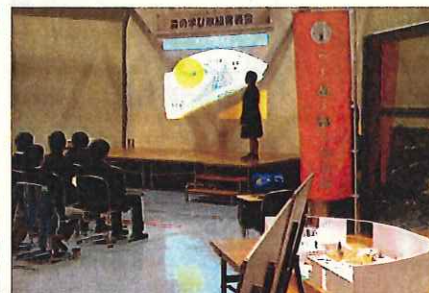
三重の木ふるさと三重かるた  
体験・大会



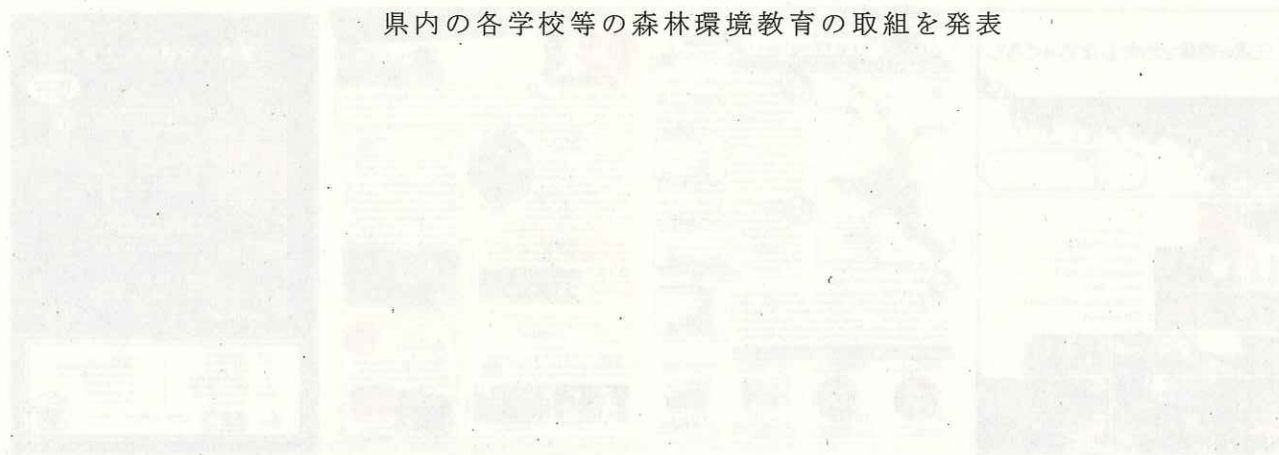
木を使ったゲーム「クッパ」  
の体験



森の学校  
(※ミエトイ・キャラバンも併催)



(左・中・右) 森の学び取組発表会  
県内の各学校等の森林環境教育の取組を発表





## 森林環境教育・木育拠点施設整備事業

令和2年5月末時点

### 1. 事業の目的

三重の森林づくり基本計画2019では、「森林環境教育・木育の輪拡大プロジェクト」を重点プロジェクトの1つとしています。その取組の一つとして、森林環境教育の活動フィールドの整備や、県有施設等を改修し常設型の木育体験施設の整備を行うなど、多くの県民がいつでも森林環境教育・木育を体験できる場づくりを行います。

### 2. 事業計画

令和元年度から令和3年度の3年間の計画で菟野町にある三重県民の森の自然学習展示館の一部改修工事を進めています。改修後は現在の展示・図書コーナーの機能も一部残しつつ、常設型の木製遊具等を設置し、木育の総合拠点施設として多くの県民に利用してもらうことを目的とします。令和元年度中に設計業務を完了し、令和2年度から令和3年度に改修工事の実施を予定しています。

### 3. 進捗状況

令和元年度は、改修工事のデザイン図面（基本設計）を県立伊勢工業高等学校建築科の協力のもと作成し、それをもとに建築設計業務委託を発注しました。

#### (1) デザイン図面（基本設計）の作成

伊勢工業高等学校建築科の教員及び生徒と平成30年度末から打合せを実施し、デザイン図面（基本設計）を作成しました。打合せは、伊勢工業高等学校作成の10分の1の模型を囲んで行い、県や三重県民の森施設管理者等の意見を反映する形で検討を重ね、令和元年7月にデザインの最終図面が完成しました。

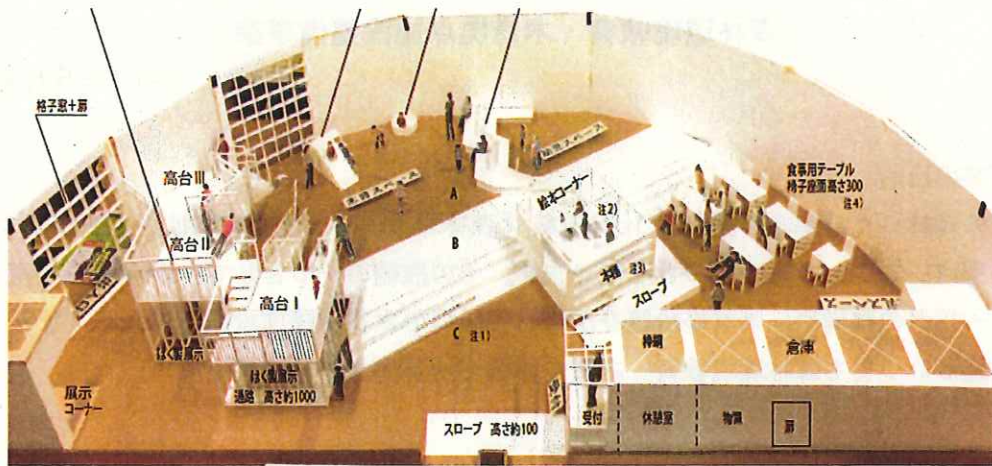


現地調査の様子（三重県民の森）



伊勢工業高等学校での打合せの様子





模型写真

## (2) 建築設計業務委託

指名競争入札を実施し、伊勢市内の建築設計会社が委託先に決定しました。また、業務内容には、図面（実施設計）作成のほか、伊勢工業高等学校を交えた打合せを行うことを含めており、計3回実施しました。打合せの中で、高校側の基本設計図面の作成の意図を受託者に理解してもらうとともに、建築士を目指す生徒たちがプロの建築士の意見を聞くことで、学びの場となることも目的としています。

### 【業務委託概要】

履行期間：令和元年10月7日から令和2年3月4日（150日間）

施工場所：三重郡菟野町大字千草地区内

業務委託料：5,489,000円（内税 499,000円）



伊勢工業高等学校を含めた打合せ（3回目）の様子

第1回、第2回の打合せでの意見を反映して作成された実施設計図面が設計業者から提示され、説明が行われました。写真は、床の材質をサンプルを見ながら検討している様子です。

## 4. 改修内容

主に未就学児を対象に、木にふれ、木の良さを知ってもらうことを目的とした常設型の



木育体験施設として改修を行います。施設内は「Feeling zone」、「Play zone」、「Learning zone」に区分けし、年齢に応じた、木とのふれ合いや、森林や自然についての学習を行える空間づくりを行う計画となっています。

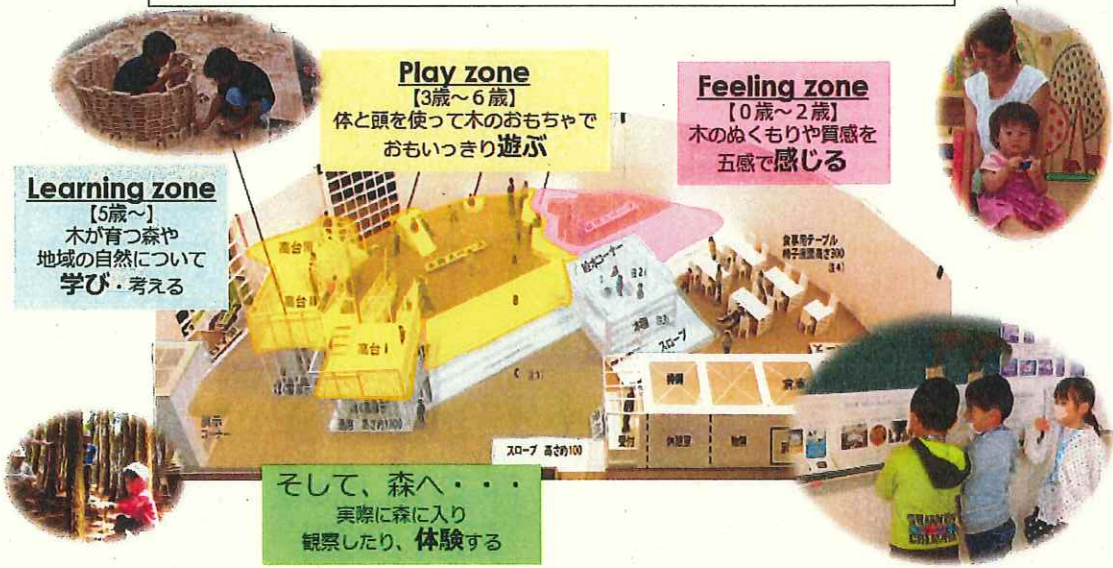


木育ステーションin三重県民の森

ここから始まる **木**とのふれあい **森**との出会い



乳児の頃から木に触れ、森を知り、地域の自然について学び・考え、将来的には郷土の自然を愛し、地域の森林を守り育てていく人を育む場として、三重県民の森の自然学習展示館が、安心して楽しみながら木に触れ木のぬくもりや質感を体感できる木育ステーションとしてリニューアルします。



各zoneのコンセプト

	対象年齢	コンセプト	イメージ	必要な整備
木育ステーション	未就学児とその保護者	乳幼児が <b>安心して楽しみながら</b> 木に触れ、木を使って木のぬくもりや質感を <b>体感</b> する	明るい心地よい空間 地域の自然とつながる	明るい照明 窓から明かりが入る 空調 外の森が見える 地域（県産）の木材を使う
	Feeling zone	木のぬくもりや質感を <b>五感で感じる</b>	安全 床に座る 衛生面 一人遊び 保護者同伴	転んでも痛くない床 素足で上がるスペース 角の取れた構造 保護者もくつろげる 掃除しやすい（汚れにくい）
	Play zone	体と頭を使って木のおもちゃで <b>思いっきり遊ぶ</b>	安全 立って遊ぶ のびのびできる 年代との社会性	角が取れた構造 幼児サイズの遊具 目線に突起物が無い グループ遊びができる遊具 動ける空間（広さ）
	Learning zone	木が育つ森や地域の自然について <b>学び・考える</b>	見本・標本から学ぶ 読む・観察する 他人から学ぶ	今ある標本・見本の活用 管理者の工夫で展示の模様替え可能な可動性のある展示スペース 壁も展示スペースとして利用 専門スタッフから学べる環境
そして森へ	-	森の中に入って、本物の自然の姿を知り、 <b>体験</b> する。	本物を体感	三重県民の森野外フィールドの活用



改修に当たっては三重県産の木材を使用することとし、建物に木材を多く使用するほか、靴を脱いで遊べる木の床の木育スペースや、もりぼーる、すべり台等の木製遊具を設置するなど、木を見て、体感できる施設にリニューアルします。

また、新たに授乳室やおむつ替えスペース、トイレ個室内にベビーチェアを設けるとともに、三重県民の森の利用者アンケートで要望の多いトイレの洋式化を行うなど、メインターゲットとなる未就学児とその保護者をはじめ来館者が利用しやすい施設に改修します。



# 森里川海つながり推進事業

令和2年3月末現在

## 1. 事業の目的

企業、NPO等自然環境保全団体等が個々に行っている野生生物の生息状況調査及び生物多様性保全活動をネットワーク化することで、森林環境教育の推進や森林の多面的機能の一つである生物多様性の保全を推進します。

## 2. 令和元年度の進捗状況

### (1) 生物多様性アドバイザー等による普及啓発

森林環境教育や生物多様性の保全を促進するため、生物多様性アドバイザー等の専門家を派遣し、アドバイスを共有するなど、NPOや自然環境保全団体等の多様な主体が協働して取り組めるよう、相互理解・相互協力による活動の拡大、取組の推進を図りました。(専門家の派遣回数：10回)

また、パンフレット、下敷き等を作成し、自然観察会等のイベントで配布することにより生物多様性保全の普及啓発を推進しました。



生物多様性啓発用下敷き



希少野生生物パンフレット



## (2) 野生生物データ整理

関係機関と連携して森里川海のつながりにおけるネットワークを構築するため、希少種・絶滅危惧種を含めた野生動植物の生息状況や分布情報をデータ化し、それを広く県民へ情報提供することで効率的に取組の促進を図る必要があります。今年度は、「三重県レッドデータブック 2015」に掲載されている「希少野生動植物種主要生息地（ホットスポット）」67箇所を地理情報システムで利用できるよう電子化するとともに、普及用の地図を作成しました。

また、希少種の保全など、生物多様性推進施策に必要な情報を把握するため、野生鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類）の生息状況調査を県内160箇所で委託により実施しました。



「希少野生動植物種主要生息地（ホットスポット）」普及用の地図（抜粋）



# 森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和2年3月末現在

## 1. 事業の目的

地域のNPOや団体、市町等と連携して、身近な自然公園の園地や歩道等を活用した森林環境教育セミナーやガイドツアー等の取組を推進するとともに、活動のフィールドとなる園地や歩道等の施設の安全点検や改修などの環境整備を行うこととし、県民が森林にふれあう活動を推進する。

## 2. 令和元年度事業実績

### (1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーやイベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、ひとり一人が健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための自然環境教育と施設整備を行いました。

### 自然環境教育・施設整備の取組状況



自然観察ツアー  
トレッキング



自然体験  
漁師体験



自然観察ツアー  
自然環境教育



自然観察ツアー  
自然環境教育





自然観察ツアーボランティア整備  
階段設置（整備前）



自然観察ツアーボランティア整備  
階段設置（作業状況）



自然観察ツアーボランティア整備  
階段設置（整備後）



自然観察ツアーボランティア整備  
階段補修（作業状況）



自然観察ツアーボランティア整備  
看板補修（補修後）



自然観察ツアーボランティア整備  
回収されたゴミ



### 森林環境教育・施設整備実績

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	11月9,10日	12名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備）
			11月16,17日	10名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（ゴミ拾い）
自然公園外	三重県民の森	菰野町	※イベント延期	20名（予定）	イベント「大工体験」（木製スロープ作成）
自然公園外	上野森林公園	伊賀町	※イベント延期	20名（予定）	イベント「大工体験」（ウッドデッキ作成）
伊勢志摩国立公園	登茂山集団施設	志摩市	11月9日	9名	自然観察ツアー（シーカヤック）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	10月6日	23名	自然観察ツアー（ハイキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	阿曾浦園地	南伊勢町	2月16日	4名	自然体験「漁師体験」

※3月に実施予定をしていた「大工体験」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを延期（準備のみ実施）

#### ○参加者の意見及び感想

- ・個人では行きにくい今回のようなエコツアーを沢山してほしい。
- ・森林の働きや海とのつながりがよく分かった。
- ・思っていたよりもえらかったが、とても良かったです。
- ・三重県にこんな素晴らしいところがあることが分かって良かったです。大切にしていきたい。
- ・ガイドさんの説明がよかった。すごく勉強になった。
- ・登山道の整備がこんなに大変だとは思わなかった。改めて整備してくださる方に感謝したいと感じた。
- ・次回、大杉谷を歩く時に、自分が関わった場所を通るのが楽しみです。







## みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業

令和2年5月末現在

### 1. 事業の目的

子どもたちの健全な心身と森林・林業に関する職業意識の醸成を図るため、県内にある自然体験の施設や指導者等と連携し、森林をフィールドとして子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶ新たなプログラムを作成するとともに、三重の森林や自然の魅力を体験できる取組「みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験事業（以下、自然環境キャンプ）」をモデル的に実施します。

### 2. 令和元年度の進捗状況

#### (1) 業務委託

自然環境キャンプを実施する事業者には森林環境教育やキャンプに関する専門性や実行能力が求められることから、事業者の経験や企画内容、提案内容の実効性等の要件を踏まえて総合的に優れたものを選定する企画提案コンペにより事業者を選定しました。

#### (2) プログラムの作成

森林をフィールドとして、子どもたちが友達と一緒に遊びながら主体的に学ぶプログラムを作成するため、県内外で子どもを対象とした自然体験事業や森林環境教育を行っている事業者を調査するとともに、県内キャンプ場等で野外体験事業を行っている事業者を構成員として、プログラムの検討を行いました。

##### 2-1) 先行事例の現地調査

子どもを対象とした自然体験活動や野外保育等を行っている事業者のフィールド及び活動を見学し、実施しているプログラムのほか、子どもを対象とする体験事業における指導者の姿勢や子どもとの接し方、心がけていることや安全管理等について調査しました。





現地調査（大台町）

山や川をフィールドに子どもを対象として自然体験活動を行う「大杉谷自然学校」の見学と活動概要の聞き取り。



現地調査（菰野町）

野外保育を行っている「森の風ようちえん」のフィールド及び実際の活動の様子を見学。



現地調査（静岡市）

里山をフィールドに、小学生を対象とした自然体験活動を行う「しずおか環境教育研究会」のフィールド及び実際の活動の様子を見学。



現地調査（名張市）

シュタイナー教育を取り入れ体を動かすことから想像力や生きる力を育てる「こども園まきば」の教育方法を見学。

## 2-2) 検討会の実施

森林インストラクターや緑の少年隊、県内のキャンプ場など、野外体験活動を行っている事業者や指導者で、自然環境キャンプのプログラムの方向性や内容の議論、注意事項の共有を行い、今年度実施する試行キャンプのプログラムを検討しました。また、試行キャンプ実施後には振り返りや改善点の共有を行い、プログラムの内容に反映させました。



### 2-3) プログラムの作成

現地調査と検討会の結果をもとに、私たちの生活に密接な関係を持つ「火」をテーマとして、子どもたちが自分の力で火おこしやたき火料理に挑戦するプログラム「めぎせ!たき火マスター!」を作成しました。このプログラムでは、子どもたちが他のメンバーと共に自ら主体的にたき火料理を計画、実施することを通して、野外生活の技と知識、知恵を習得すること、協働作業の中からコミュニケーション能力を高めること、そして自然や森林への興味関心を持つことを目的としました。

プログラムは、基本的な技術を習得する日帰りキャンプ2回と、それを受けて子どもたちだけで実際にたき火料理を計画、実践する1泊2日キャンプ1回の計4日間で構成し、参加者は原則4日間すべてに参加することとしました。

また、参加対象者を、物事のある程度対象化して認識することができるようになり、自分のことを客観的にとらえられるようになる3年生以上の小学生としました。

### (3) 試行キャンプの実施

作成したプログラムを2回、三重県民の森(三重郡菰野町千草)にて開催しました。

#### 自然環境キャンプ開催日程

日程	期間	参加人数 (人)	内容
1月18日(土)	日帰り	13名	グループで協力して、火起こしにチャレンジ!
1月19日(日)	日帰り	14名	スタッフと一緒に、たき火でごはんを作ろう!
2月1日(土) ~2月2日(日)	1泊2日	12名	子どもたちの力で、たき火料理にチャレンジ!
2月15日(土)	日帰り	15名	グループで協力して、火起こしにチャレンジ!
2月16日(日)	日帰り	15名	スタッフと一緒に、たき火でごはんを作ろう!
2月29日(土) ~3月1日(日)	1泊2日	—	子どもたちの力で、たき火料理にチャレンジ!

参加人数は、体調不良等で欠席した参加者を除いた数。

第2回1泊2日キャンプは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。



### 3-1) 募集・応募状況

開催にあたり、「めざせ！たき火マスター」の参加者募集について三重県ホームページおよび三重県民の森のホームページ、Facebook 等で告知しました。また、三重県民の森の所在地である菰野町と、菰野町の近隣に位置し三重県民の森の利用者が多い四日市市、鈴鹿市、桑名市の計4市町の小学生3年生から6年生に向け約25,000部のチラシを配布しました。第1回募集には51名、第2回募集には230名の応募があり、その中から各回15名を抽選により選出しました。

**めざせ！たき火マスター！**

**キャンプのスケジュール**

**1日目** グループで協力して火起こしにチャレンジ！  
13:00 県民の森集合、あいさつ、プログラムの説明  
16:00 終了、解散

**2日目** スタッフと一緒にたき火でごはんを作ろう！  
10:00 県民の森集合、あいさつ  
13:00 目を閉じて作ったみそ汁とおにぎり  
16:00 終了、解散

**3~4日目** 子どもたちのかたき火料理にチャレンジ！  
10:00 県民の森集合、あいさつ  
12:00 朝食  
22:00 たき火で夕食！美味しくできたかな？  
8:00 朝食  
12:00 たき火料理で朝食  
15:00 終わりのあいさつ、プログラム終了

**こんなことするよ！**

**1日目** 火を焚くことにチャレンジしよう！  
**2日目** たき火で夕食！美味しくできたかな？  
**3日目と4日目** 子どもたちのかたき火料理にチャレンジ！  
うまく料理できるかな？

**参加費 無料**

**開催日** 第1回 4月18日(土) 第2回 2月15日(土)

**場所** 三重県民の森 菰野町字藤 7181-3

**申し込み・お問合せ** 三重県民の森  
TEL 059-394-2340(9:00~17:00)  
FAX 059-394-2440 E-mail info@mie-mori.jp

### チラシ

### 3-2) 実施

令和2年1月18日(土)から2月2日(日)にかけて第1回自然環境キャンプを開催しました。第2回は令和2年2月15日(土)から3月1日(日)にかけて開催する予定でしたが、このうち2月29日(土)から3月1日(日)までの宿泊キャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

試行キャンプでは、スタッフは教える役ではなく、子どもの気づきの促進役に徹しました。子どもたちに「問いかける」ことを通して、子どもたちが小さな失敗と挑戦を繰り返し、その中で学びを広げていくこと、そして自ら主体的となって行動ができるようになることを目指しました。

子どもたちは、最初はマッチで落ち葉に火を点けることにも苦戦していました



が、スタッフの問いかけをもとに失敗した原因を考えたり、子どもどうして解決策を話し合ったり、試行錯誤したりしながら、失敗と成功を繰り返していくうちに上手に火をおこせるようになり、最終日には子どもたちだけで、計画したたき火料理を完成させていました。また、子どもたちが周りの様子を見ながら自ら作業を分担して行ったり、スタッフが声をかけなくても自分たちで失敗の原因やどうすれば成功するかを話し合ったりする姿も見られました。



スライドトーク（1日目）

テーマの「火」にまつわる話を紙芝居風の  
スライドショーで読み聞かせ。



火おこしの実演（1日目）

たき火マスターを目指す子どもたちの模  
範となる「たき火名人」が実際に火おこし  
を見せる。



火おこし（1日目）

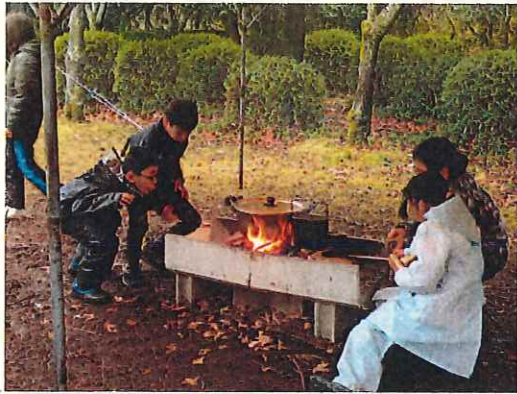
たき火名人の技を観察した結果をもとに、  
マッチを使って火おこしに挑戦。



振り返り（各日）

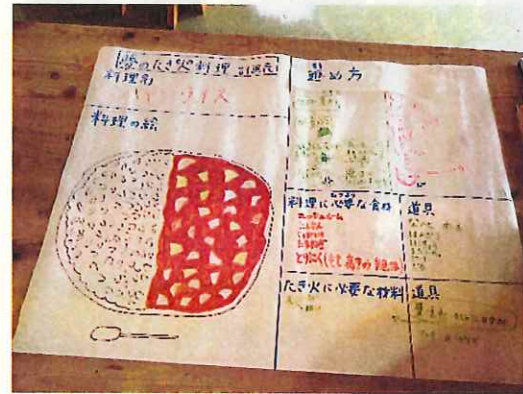
その日挑戦したことや失敗したことにつ  
いて振り返り。どうすれば成功するかを  
班で共有。





たき火で調理（2日目）

たき火で、味噌汁と飯ごうを使ったご飯の調理に挑戦。



たき火料理の計画（3日目）

子どもたちだけで作るたき火料理のメニューや具材、調理方法を話し合い計画を立てる。



たき火料理（3日目）

計画をもとにたき火料理を子どもたちだけで作ることに挑戦。





リベンジたき火料理の計画（3～4日目）  
たき火料理の結果をもとに、上手く出来なかった所、どうすれば理想のたき火料理に近づくかを話し合い。



宿泊（3日目）  
冬季のため県民の森の施設内にテントを張って宿泊。星空観察や夜のたき火を囲む会も実施。



リベンジたき火料理（4日目）  
3日目の反省点を踏まえ、同じメニューのたき火料理に再挑戦。完成した料理は参加者の保護者にも振る舞った。



発表の様子（4日目）  
たき火料理の計画や結果、頑張ったこと等を発表。保護者から子どもたちに試食の感想も伝えられた。



修了証の授与（4日目）  
たき火名人から子どもたちひとりひとりにたき火マスター修了証を授与。



記念撮影の様子（4日目）  
修了証を持って記念撮影。

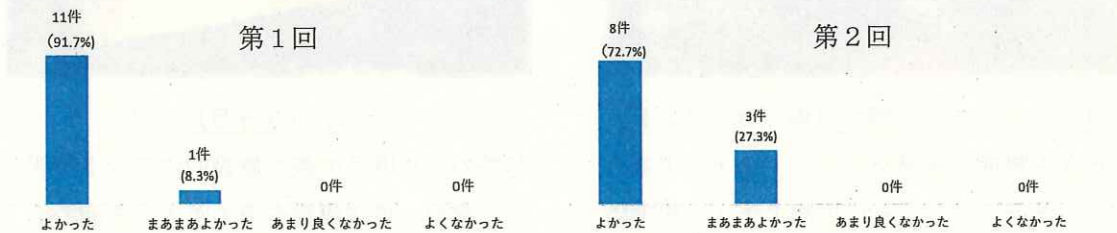


### 3-3) アンケートの実施

自然環境キャンプに参加した子どもの保護者を対象に、アンケートを実施しました。自然環境キャンプに参加した子どもの変化や今後の自然環境キャンプに対する要望等の質問項目を設けました。(一部任意回答あり。)

#### アンケート結果 (一部抜粋)

- ・自然環境キャンプに参加して良かったでしょうか。



- ・今回のプログラムが有料の場合、いくらまでなら参加したいですか。(4日間の合計金額)



- ・森林公園でのイベントなど、三重県の自然や森林に関する取組へのご意見がありましたら、ご記入ください。

どんなイベントや取組があるのかが、今一つ伝わってこない。もっと知りたいと思いました。
学童にいるときに、間伐材を使ったイベントがありました。楽しかったという話をよく聞いていました。
良いイベントがたくさんあると思うのですが自分を含め知らずに終わってしまっていることが多いかもしれません。
森林フェスタなどは、展示ブースのみでその場限りのことが多いので、森林伐採の子どもが参加出来る野外でのイベントなどを企画して欲しい。
地元の木を使った家具に魅力を感じます。今回のイベントでみえ森とみどりの県民税のことを知りました。子どもたちのために使っていただけたら嬉しいです。
普段の生活の中ではなかなか知られない事が多いが、学校からのプリントなどから知るきっかけが多い。また、子供が学校で聞いてきたり学んで来た事は親には伝わり易いと思います。
木に関するイベントがいろいろあるといいです。
イベントが増えるのは小中学生のいる家庭には嬉しい。子どもが興味引く催しを期待しています。有料でもそれが三重の森林保護に繋がるなら歓迎です。
小学校経由で告知頂けるとチラシも必ず目にするのでありがたいです。
積極的に告知した方がよい。
廃材での工作、廃材を使った家具 (学習机など) があれば面白い。



#### (4) マニュアルの作成

試行実施した自然環境キャンプのプログラムをもとに、令和2年度以降県内各地で他の事業者が自然環境キャンプを実施できるようにするためのマニュアルを作成しました。マニュアルには、事業者の準備物や自然環境キャンプ実施の流れ、子どもとの接し方のほか、自然環境キャンプを実施して気付いた点や注意点、実施後に行った検討会で挙げられた改善点及びアンケート結果等も盛り込みました。







令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金事業(連携枠)実施結果

市町	流域防災機能強化対策事業		森林再生力強化対策事業 (獣害防止施設等整備)		森林再生力強化対策事業 (ニホンジカの捕獲等)	
	事業量	連携枠交付額	事業量	連携枠交付額	事業量	連携枠交付額
津市	48.71ha	37,201,000	9,438m	6,438,000		
松阪市	4.00ha	8,000,000	10,392m	7,879,569		
多気町	2.00ha	821,700				
大台町	111.08ha	38,259,000	4,002m	2,629,000		
度会町	8.00ha	2,970,000				
大紀町	15.10ha	5,410,900	2,547m	986,037		
志摩市	6.75ha	3,575,000				
伊賀市	67.34ha	19,987,000				
名張市	10.94ha	3,960,000				
尾鷲市			1,101m	677,213		
紀北町			2,503m	1,681,816		
熊野市	9.31ha	5,394,000	5,172m	3,259,873	1箇所 (3基)	656,000
紀宝町	18.28ha	8,640,000				
計	301.51ha	134,218,600	35,155m	23,551,508	1箇所 (3基)	656,000

事業別業費

流域防災機能強化対策事業	134,218,600 円
森林再生力強化対策事業	24,207,508 円



# 流域防災機能強化対策事業

「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」を進めていくため、山腹崩壊の発生源となる斜面上部の〇次谷の凹地形周辺や、土壌浸食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を、市町と県が連携して取り組み、流域の防災機能の強化を図ります。

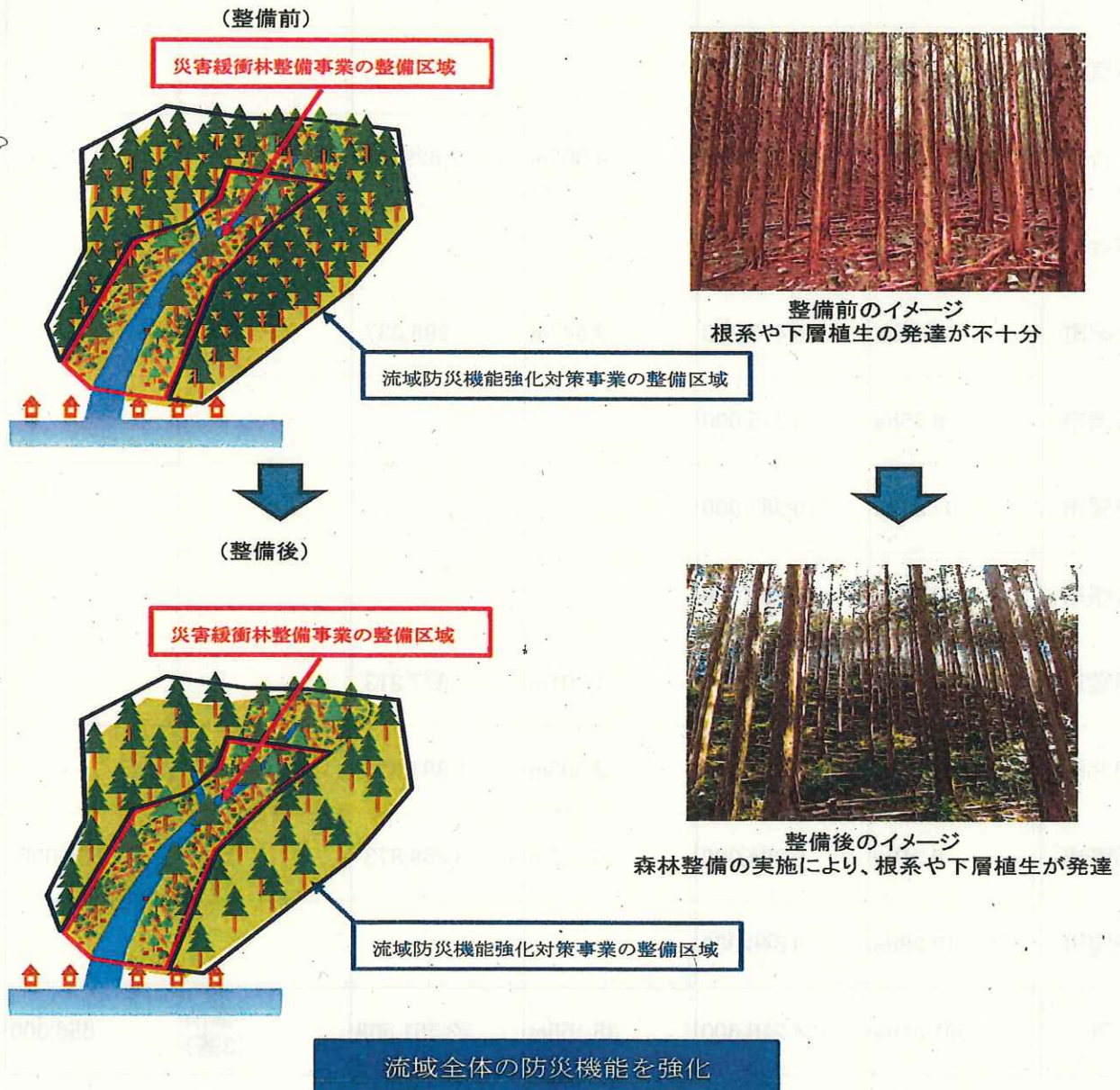
## <事業対象区域>

県が実施する災害緩衝林整備事業の整備範囲の森林と一体的に整備する区域、環境林、特定水源地域

## <事業の内容>

県が行う災害緩衝林整備事業に準じた森林整備

## <整備のイメージ>





# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例1 津市

整備前



整備後



# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例2 津市

整備前



整備後





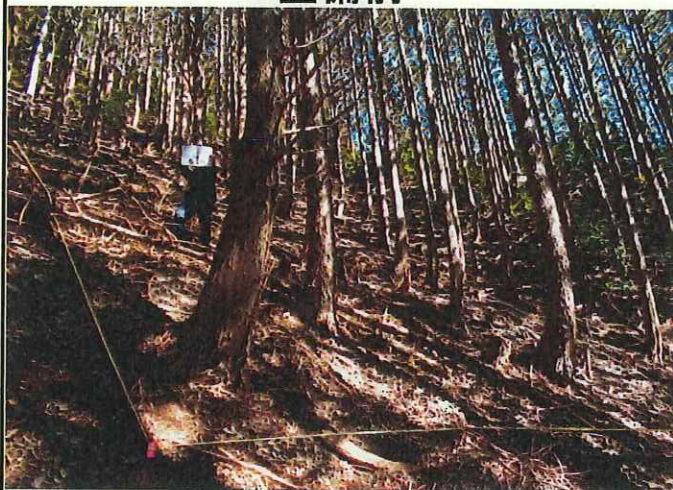




# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例5 大紀町

整備前



整備後



# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例5 大紀町





# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例6 度会町

整備前

整備後



# 流域防災機能強化対策事業 森林整備

事例7 熊野市

整備前

整備後





## 森林再生力強化対策事業

林業の生産活動による緑の循環を実現する中で、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能を高度に発揮させていくため、森林所有者等が行う新植地等への獣害防止施設等の整備や市町が行うICT等の新たな技術を用いたニホンジカの捕獲等を支援し、森林の再生を妨げている野生獣による被害の抑制を図ります。

### 獣害防止施設等整備

#### <事業の内容>

○市町村森林整備計画において指定された鳥獣害防止森林区域内において、森林所有者等が行う獣害防止施設等の設置や補修に対して支援

○支援した箇所においては、森林所有者等が施設の定期的な点検や更新状況の確認を実施



防護柵設置のイメージ

### 的確な獣害防止対策の実施

### ニホンジカの捕獲等

#### <事業の内容>

○鳥獣害防止森林区域内における獣害防止施設等の整備箇所周辺において、ICT等の新たな技術を用いた捕獲をモデル的に実施する市町に対して支援

○市町は、ICT等の新たな技術を用いることによる見回り作業の省力化や効果的な捕獲に関する検証を実施



捕獲のイメージ  
自動撮影カメラによる遠隔監視

### 効果的な捕獲による被害軽減

## 植栽地の確実な更新



# 森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

## 事例1 松阪市

整備前



整備後



# 森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等整備

## 事例2 大台町

整備前



整備後





# 森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等補修

事例 紀北町

整備前



整備後

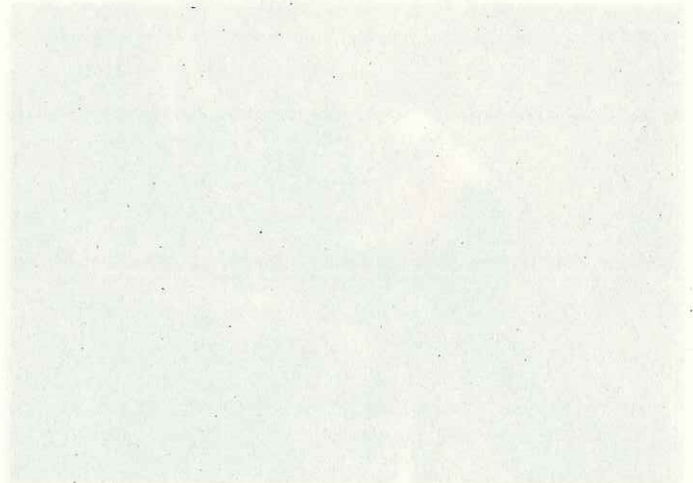
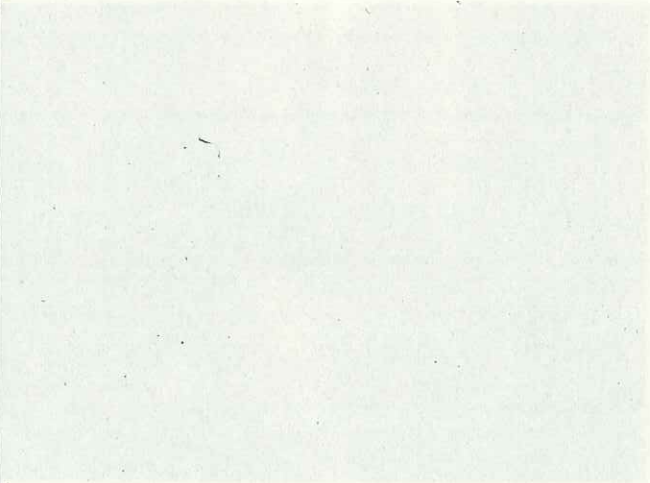


森林再生力強化対策事業 獣害防止施設等補修

事例 紀北町

整備前

整備後





# 森林再生力強化対策事業 ニホンジカの捕獲等

事例 熊野市

はこわな設置状況



アニマルセンサーリモート



# 森林再生力強化対策事業 ニホンジカの捕獲等

事例 熊野市

くくりわな設置状況



アニマルセンサーリモート





# 森林再生力強化対策事業 ニホンジカの捕獲等

事例 熊野市

センサーカメラ撮影(カモシカ)



センサーカメラ撮影(ニホンジカ)



# 森林再生力強化対策事業 ニホンジカの捕獲等

事例 熊野市

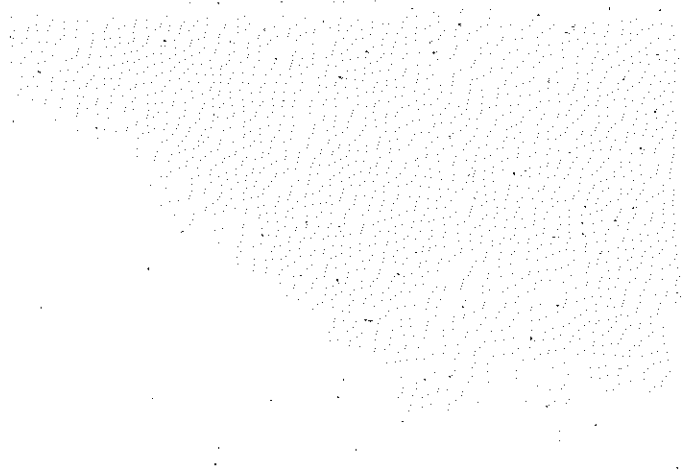
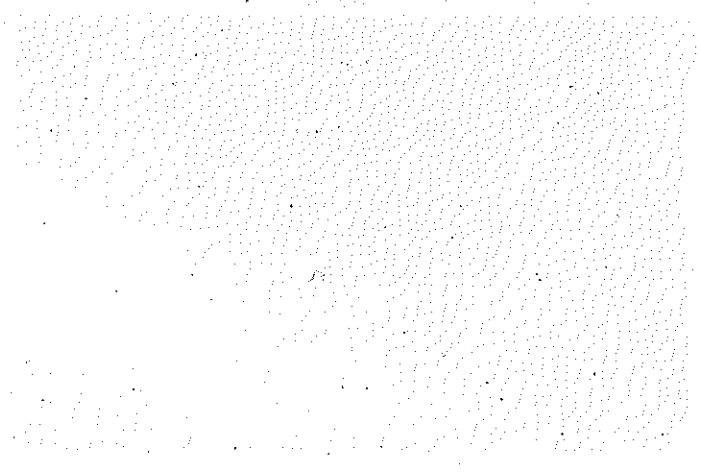
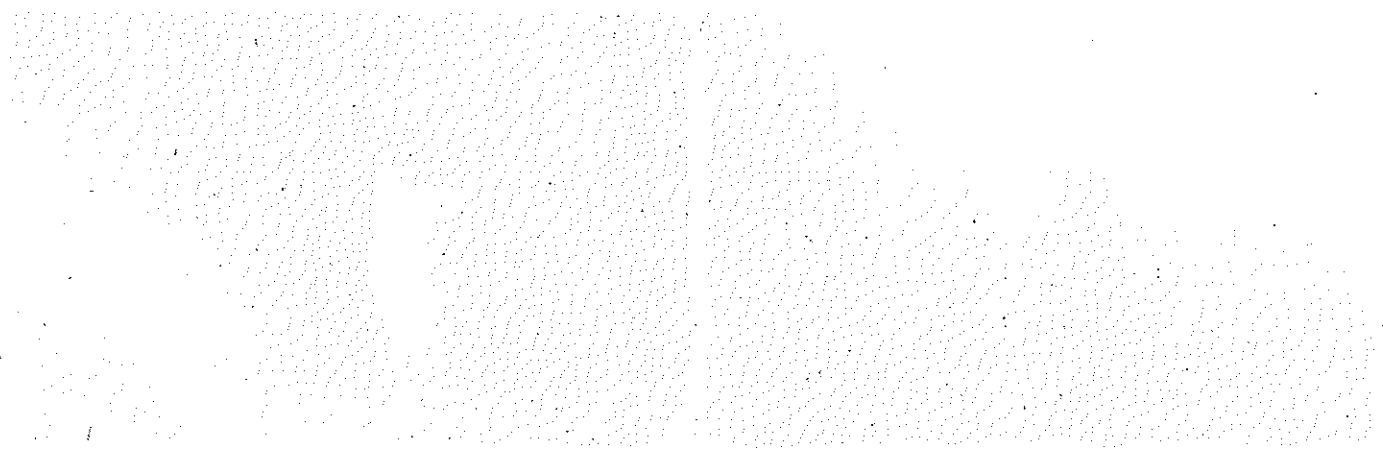
センサーカメラ撮影(ウサギ)



センサーカメラ撮影(ニホンジカ)









## みえ森と緑の県民税市町交付金事業の概要

### 1. 事業の目的

この事業は、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨（以下「趣旨」と言う。）に則って、市町が地域の実情に応じて創意工夫して森林づくりの施策を展開すること、また県と市町が連携して課題解決に取り組むことができるよう、予算の範囲内でみえ森と緑の県民税市町交付金（以下「市町交付金」と言う。）を交付するものです。

### 2. 市町交付金の総額

毎年度のみえ森と緑の県民税の税収から制度の運営に必要な経費を除いた残りの概ね半分を市町交付金の総額とします。

（5年間の総額で、県：市町＝5：5とする。）

### 3. 市町への配分方法

市町交付金には、森林面積や人口を算定基礎として一定のルールに従って配分する「基本枠」と、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分する「連携枠」、森林面積が寡少（100ha未滿または森林率が10%未滿）な市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分する「加算枠」があります。

基本枠の総額と連携枠と加算枠を合算した額の割合は、市町交付金の総額に対し、概ね2：1の割合とします。

基本枠	均等配分（各市町へ均等に一定額を配分）、人口配分（市町の人口割合に応じて配分）、森林面積配分（市町の森林面積割合に応じて配分）の3つの配分方法を組み合わせて配分します。
連携枠	面的な森林整備や獣害対策など、県と市町が連携して取り組むべき課題に対し、市町からの事業量の申請に応じて配分します。
加算枠	森林面積が寡少（100ha未滿または森林率が10%未滿）の市町に対し、市町からの事業計画申請等に基づいて配分します。

#### 1) 基本枠の配分

均等配分を1市町当たり500万円とし、残りを市町の人口と森林面積に応じて配分しますが、この時の配分割合は人口：森林面積＝1：1とします。

この考え方に基づいて算出された額を毎年度当初に県から全ての市町に内示し、交付を受ける市町は、県に交付申請を行います。

#### 2) 連携枠の配分

交付を希望する市町は、事業実施前年度に県に希望する事業量を申請します。県は申請内容を審査し、配分額を決定します。

新年度（＝事業実施年度）当初に県から該当市町に交付額を内示し、これを受け、



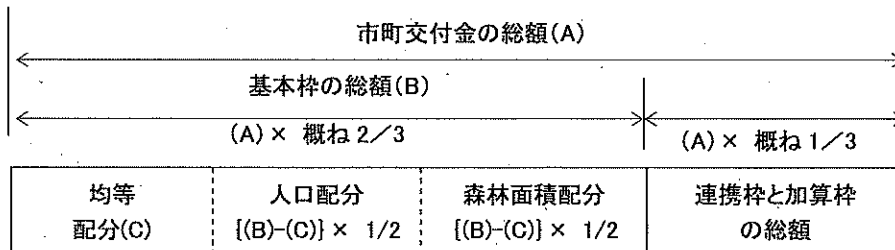
市町が県に交付申請を行います。

### 3) 加算枠の配分

交付を希望する市町は、事業実施前年度に県に申請書を提出します。県は申請内容を審査し、その結果を市町に通知します。

新年度（＝事業実施年度）当初に県から該当市町に交付額を内示し、これを受け、市町が県に交付申請を行います。

なお、加算枠には5年間の申請上限額を設け、その額を1,000万円とします。



500万円/市町 × 29市町 = 1億4,500万円

## 3. 市町交付金の使い途

### 1) 事業実施の3原則

事業の実施に当たっては、次の3つの原則全てを満たさなければなりません。

事業実施の3原則
【原則1】 「2つの基本方針と5つの対策」に沿った内容であること。
【原則2】 新たな森林対策として実施する新規又はこれに準ずる取組であること。なお、税導入以前から取り組まれている事業の場合は、新たな視点を取り入れた対策とすること。
【原則3】 直接的な財産形成を目的とする取組でないこと。

### 2) 2つの基本方針と5つの対策

原則2に示す「2つの基本方針と5つの対策」は次のとおりです。

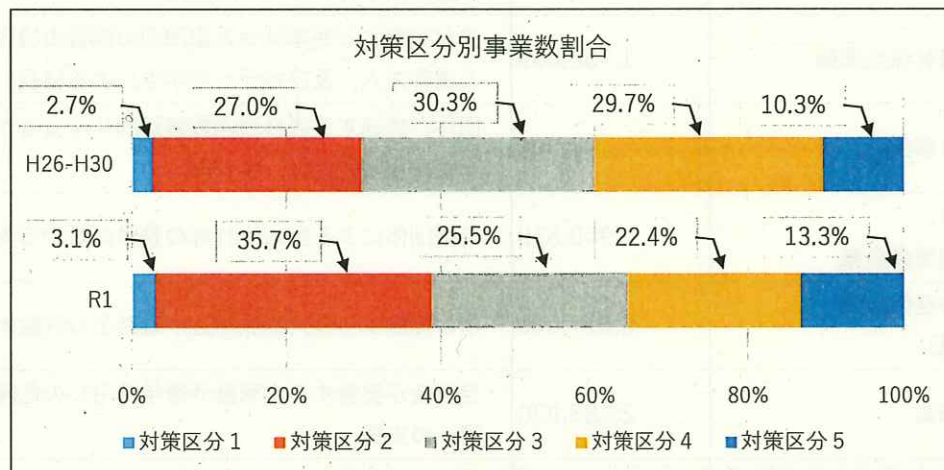
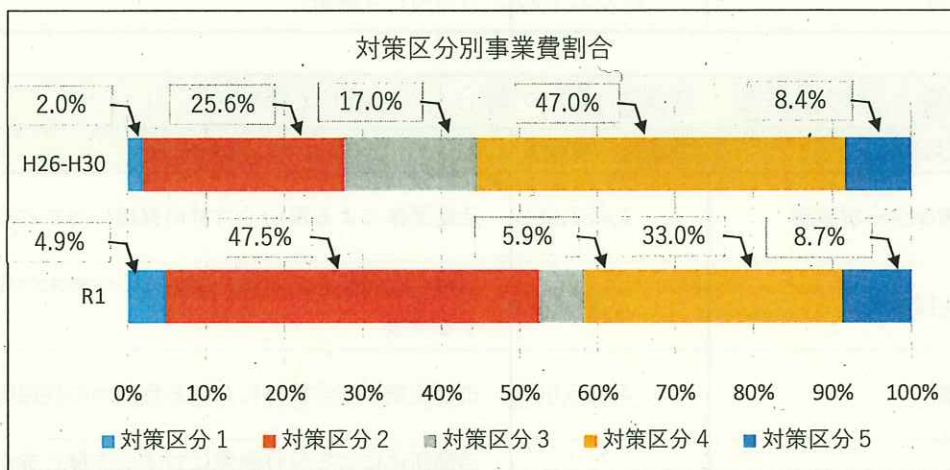
基本方針	対 策	対策の基本的な考え方
1 災害に強い森林づくり	1 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進める。
	2 暮らしに身近な森林づくり	生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしに関わりの深い森林について必要な対策を進める。
2 県民全体で森林を支える社会づくり	3 森を育む人づくり	「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林や緑を大切に思い・育む人づくりのため、森林環境教育や木育に携わる人材の育成や教育活動を進める。
	4 森と人をつなぐ学びの場づくり	未就学児や児童、生徒をはじめ、様々な県民に森林や木材について学び、ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進める。
	5 地域の身近な水や緑の環境づくり	地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動への支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深める対策を進める。



令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧

1. 県全体の対策区分別事業費等

対策区分	対策内容	活用額（円）		事業数（事業）	
		H26～H30	R1	H26～H30	R1
1	土砂や流木を出さない森林づくり	49,866,157	17,001,600	14	3
2	暮らしに身近な森林づくり	635,878,895	164,386,151	141	35
3	森を育む人づくり	423,275,715	20,339,323	158	25
4	森と人をつなぐ学びの場づくり	1,168,678,649	114,201,787	155	22
5	地域の身近な水や緑の環境づくり	207,975,329	30,293,430	54	13
合計		2,485,674,745	346,222,291	522	98





令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別一覧

2. 対策区分別事業一覧

みえ森と緑の県民税 対策区分1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり			
市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
大台町	災害に強い森林づくり整備事業	9,911,000	町が実施する溪流沿いの森林整備
度会町	流倒木撤去事業	2,090,000	町が実施する河川沿いの流倒木の伐採・撤去
大紀町	溪流倒木等処理事業	5,000,600	町が実施する溪流沿いの倒木等危険木の伐採・撤去
対策区分計		17,001,600	3市町、3事業

みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり			
市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	1,421,000	活動団体による里山や竹林の整備に対する支援
四日市市	危険木等除去支援事業	200,000	自治会等が実施する通学路沿いの危険木の伐採等に対する支援
四日市市	学校林整備事業	4,815,000	市が実施する学校林における危険木の伐採等
桑名市	里山再生・竹林整備推進事業	6,798,000	活動団体による竹林整備に対する支援と市が活動団体に貸し出す竹チップの購入
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	1,756,059	市が実施する海岸林や人家周辺の病虫害被害木の伐採と樹幹注入、及び地元小中学生による植栽
鈴鹿市	緑の未来づくり事業	37,000	団体が実施する森林環境教育活動や所有者が実施する病虫害被害木伐採への支援
亀山市	暮らしに身近な 里山・竹林環境整備事業	940,810	活動団体による里山や竹林の整備に対する支援
亀山市	集落周辺の森林整備事業 (危険木等伐採)	8,677,000	市が実施する公共施設周辺や道路上の危険木の伐採等
いなべ市	危険木の除去事業	2,183,930	自治会が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等への支援
東員町	みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (危険木伐倒等業務)	1,698,000	町が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	156,000	土地所有者等が実施する病虫害による被害木の伐採等への支援
津市	林地残材搬出促進事業	35,815,400	事業者が実施する未利用間伐材を木質バイオマス利用のための搬出に対するための支援
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	21,718,280	市が実施する集落や公共施設周辺の危険木の伐採等
明和町	松林整備事業	1,000,000	町が実施する海岸沿いの松林における病虫害被害木の伐採等
大台町	ほっとする道ばた森林整備事業	5,000,000	町が実施する道路沿いの危険木の伐採等



みえ森と緑の県民税 対策区分2：暮らしに身近な森林づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
伊勢市	森林整備事業	5,067,140	市が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等
鳥羽市	危険木伐採事業	8,697,000	市が実施する人家裏や避難路沿いの危険木の伐採等
志摩市	里海・里山保全事業	4,973,310	市が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等
度会町	危険木伐採事業	4,910,000	町が実施する通学路や生活道路沿いの危険木の伐採等
大紀町	生活環境林整備事業	4,000,700	町が実施する人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
南伊勢町	危険木除去事業	4,809,000	町が実施する公共施設周辺や通学路、避難道沿いの危険木の伐採等
名張市	危険木伐採事業	5,500,000	市が実施する公共施設周辺や通学路沿いの危険木の伐採等
名張市	未利用間伐材 バイオマス利用推進事業	1,368,425	森林所有者等が実施する未利用間伐材を木質バイオマス利用のための搬出に対する支援
名張市	人家裏危険木伐採事業	2,440,000	地域住民が実施する人家裏の危険木の伐採等への支援
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	6,071,000	自治会等による里山や竹林の整備に対する支援
伊賀市	未利用間伐材 バイオマス利用推進事業	3,882,925	森林所有者等が実施する未利用間伐材を木質バイオマス利用のための搬出に対する支援
尾鷲市	学校危険木除去事業	2,498,029	市教育委員会が実施する学校内の危険木の伐採等
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	979,000	自治会や自主防災会等が実施する人家裏の危険木の伐採への支援
紀北町	危険木伐採事業	4,081,000	自治会が実施する人家裏の危険木の伐採への支援
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	174,000	活動団体による里山の整備に対する支援
熊野市	身近なみどり整備推進事業	128,000	区又は個人が実施する集落周辺等の危険木の伐採等への支援
熊野市	暮らしを守る危険木伐採事業	3,029,400	市が実施する生活道路沿いの危険木の伐採等
熊野市	森林病害虫等防除実施事業	1,611,000	市が実施する海岸沿いの松林における病害虫被害木の樹幹注入等
御浜町	危険木等除去事業	2,640,000	町が実施する生活道路沿いの危険木の伐採等
紀宝町	生活環境林整備事業	5,309,743	町が実施する公共施設周辺の危険木の伐採等
対策区分計		164,386,151	24市町、35事業



みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
鈴鹿市	森に親しむ記念樹贈呈事業	200,000	市が実施する植木まつりでの記念樹配布とアンケート調査
鈴鹿市	森と緑の生涯学習講座	844,941	市が実施する公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森の講座)	661,100	市が実施する「森の講座」と「木育教室」の開催
亀山市	森と木材のふれあい事業 (森林づくり協議会)	1,000,000	森林づくり協議会が実施する山の日のイベント等の開催
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	871,750	市が中学卒業生へ配布する市産材の箸の制作
木曾岬町	森林環境教育事業	912,148	町教育委員会が中学校を対象に実施する野外体験
川越町	川越中学校自然教室	701,236	町が川越中学校の1年生を対象に実施する野外体験
川越町	川越北小学校自然教室	559,960	町が川越北小学校の5年生を対象に実施する野外体験
川越町	川越南小学校自然教室	511,780	町が川越南小学校の5年生を対象に実施する野外体験
津市	津市森林環境教育事業	493,600	市が実施する「夏休み森と緑の親子塾」と「まるごと林業体験」の開催
津市	美里水源の森「林業体験」事業	250,000	団体が美里水源の森で実施する林業体験への支援
松阪市	森林環境学習事業	2,898,720	市が小学校を対象に実施する森林環境教育活動
志摩市	里山体験事業	917,690	市が実施する野外体験学習の開催
玉城町	森林環境教育・木育事業	324,940	町が小学校を対象に実施する森林環境教育・木育の活動
度会町	森林環境教育推進事業	95,000	町が小学校を対象に実施する出前授業
南伊勢町	森林環境教育事業	179,000	町が小学一年生を対象に実施する森林環境教育
名張市	森林環境教育推進事業	100,000	学校単位の実行委員会が小学校を対象に実施する森林環境教育への支援
名張市	みて・さわって・ 森のわくわく体験事業	396,000	市が保育所等を対象に実施する野外体験
伊賀市	親子ではじめる木育推進事業	2,330,440	出産時や検診の際に、市が行う木製品と木育リーフレットの配布
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	2,391,952	学校単位の実行委員会が小中学校を対象に実施する森林環境教育への支援
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	800,000	自治協議会が実施する森林・林業に関する研修活動への支援と、市が実施する講演会等の開催



みえ森と緑の県民税 対策区分3：森を育む人づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業 (伊賀の木活用人材育成)	577,867	高等学校の木工部が地域の木材生産者等と連携して取り組む、木製品の開発に対する支援
尾鷲市	クップ普及推進事業	471,199	市教育委員会が実施するクップ競技にかかる視察及び啓発用品の購入
紀北町	県民植樹活動事業	850,000	町が実施する県民参加の植樹祭の開催
紀宝町	森と緑の環境教育事業	1,000,000	町教育委員会が実施する講演会やワークショップ等の開催
対策区分計		20,339,323	16市町、25事業

みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
四日市市	市民活動センター運営事業	1,592,800	市が実施する市民活動センターへの木製備品(机、椅子等)の導入
四日市市	子育て支援センター管理運営事業	731,160	市が実施する子育て支援センターへの木製備品(ミニログハウス)の導入
四日市市	認定こども園備品整備事業	6,131,400	市が実施する認定こども園への木製備品(机・椅子)の導入
四日市市	少年自然の家管理運営事業	4,307,600	市が実施する自然の家における木製備品(机・椅子等)の導入
四日市市	四日市市中央緑地新体育館建設事業	40,569,857	市が実施する体育施設の一部木質化
桑名市	病院備品等整備事業	7,800,000	医療機関が実施する病院への木製備品(机・椅子等)の導入への支援
鈴鹿市	AGF鈴鹿体育館 サブアリーナ床面改修工事	10,000,000	市が実施する市体育館の床の木質化
鈴鹿市	森林環境に関する講演事業及び 木製備品購入事業	3,800,000	市立図書館が実施する木製備品の導入と講演会の開催
鈴鹿市	鈴鹿市立西条保育所新設工事	2,200,000	市が実施する保育所への木製備品(棚)の導入
亀山市	森と木材のふれあい事業 (木とふれあう)	855,090	市が実施する幼稚園や保育園等への木製遊具の導入
朝日町	森と緑を大切に思う人づくり事業	121,000	町が実施する保育施設等への木製遊具の導入
川越町	川越中学校美術室・技術室 机・椅子整備事業	3,591,000	町が実施する川越中学校への木製備品(机・椅子)の導入
川越町	ふれあい広場ベンチ整備事業	525,024	町が実施するふれあう広場への木製備品(ベンチ)の導入
松阪市	都市公園整備事業	4,600,000	市が実施する都市公園への東屋設置
多気町	県産材を活用した 木製備品整備事業	7,453,600	町が実施する小学校や保育園への木製備品(ロッカー等)の導入
明和町	学校等木製備品購入事業	7,063,000	町が実施する小学校への木製備品(机・椅子)の導入



みえ森と緑の県民税 対策区分4：森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
志摩市	中学校木製備品整備事業	5,292,000	市が実施する中学校への木製備品（机・椅子）の導入
玉城町	公共施設（学び場）整備事業	3,078,096	町が実施する保育所の床の木質化と中学校への木製備品（椅子）の導入
名張市	学校林整備事業	500,000	団体等が実施する小学校の学校林の整備と森林環境教育活動
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	2,395,160	市教育委員会が実施する小学校への木製備品（机・椅子等）の導入
尾鷲市	木とふれあう木育活動推進事業	1,100,000	市が実施する保育園への木製遊具の導入
御浜町	学校施設木質化事業	495,000	町が実施する中学校への木製備品（椅子）の導入
対策区分計		114,201,787	14市町、22事業

みえ森と緑の県民税 対策区分5：地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名	市町事業名	活用額・精算額	事業内容
桑名市	播磨2号緑地里山整備事業	430,000	市が団体と連携して実施する森林公園内の散策路整備等
菰野町	菰野富士 ふるさとの山環境整備事業	4,774,000	町が実施するバリアフリー木道の整備
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設、ふれあいパーク）	1,200,000	町が実施する子育て施設等での芝生の管理
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（ふれあいパーク）	2,700,000	町が実施する公園の芝生化と木製ベンチの設置等
川越町	川越北小学校 シンボルツリー樹形整形事業	880,000	町が川越北小学校で実施するシンボルツリーの整備
玉城町	森林ふれあい創出事業	423,500	町が実施する公共施設への木製ベンチの設置
南伊勢町	阿曾浦公園 ウッドチップ舗装整備事業	7,580,000	町が実施する公園のウッドチップ舗装
名張市	森林公園等環境活用整備事業	900,000	地域づくり組織が実施する市林公園の整備への支援
名張市	桜並木保全管理事業	300,000	市が実施する市民参加型の公園の桜並木の整備
尾鷲市	中村山公園整備事業	2,860,000	市が実施する公園の整備
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	6,733,100	市が実施する公園の整備
御浜町	森林公園等環境整備事業	1,122,000	町が実施する森林公園の整備
紀宝町	クマノザクラ整備事業	390,830	町が活動団体と連携して行うクマノザクラの植樹と研究
対策区分計		30,293,430	11市町、13事業